

脊髄損傷者の生活状況に関する  
全国実態調査報告書

特定非営利活動法人 日本せきずい基金

## はじめに

この脊髄損傷者の実態調査は、全国の地域で生活している脊髄損傷者が、どのような状況下で生活しているかを網羅的に把握することを目的に調査しました。その背景には、今までこのような脊髄損傷者の全体像を把握するデータがなく、実態調査をしたという報告がなかったことに起因しています。

この調査に用いたアンケート調査票は、過去に2度調査したことがある全国脊髄損傷者連合会の沖縄県支部のアンケート内容を参考にさせていただきました。また、本調査にあたっては、全国頸髄損傷者連絡会会員700名、全国脊髄損傷者連合会会員1300名、日本せきずい基金会員2500名の皆さんに協力をお願いしました。リサーチ会社のシミックヘルスケア・インスティテュート株式会社にアンケート集計をお願いし、その元データの分析を障がい者ITサポートおきなわに依頼しました。

7月にアンケート調査を始め、800名からアンケートの回答をいただきました。この場を借りて回答いただいた方に感謝します。その後、9月に集計し、12月にはデータ分析を終えました。その結果に基づき、徳島赤十字ひのみね総合療育センター加藤真介氏、京都大学大学院岩隈美穂氏に取りまとめをお願いいたしました。

最後に、これらの実態調査にあたっての経費は、一般社団法人日本損害保険協会の助成金によるものです。日本損害保険協会の前向きな協力に感謝いたします。ならびに、全国頸髄損傷者連絡会、全国脊髄損傷者連合会の皆様に、この冊子の出版にあたり、感謝の意を表します。

2022年8月

特定非営利活動法人日本せきずい基金  
理事長 大濱 眞

1. 目的 脊髄損傷は発生・治療・その後の生活など、すべての面において社会的要因に大きく影響を受けます。脊髄損傷による麻痺や合併症の管理方法はある程度確立し、脊髄損傷者の余命は健常者に近づきました。これまでも、脊髄損傷者が生活する上での未解決の問題は山積していましたが、これに脊髄損傷者の高齢化が加わりました。さらに、高齢者が新たに受傷する脊髄損傷の激増という事態もあります。これらに対応するためには、現状を把握することが基本になります。これまで、全国頸髄損傷者連絡会やNPO法人沖縄県脊髄損傷者協会が行われた調査はありますが、全国規模ですべての方に対応したものではありませんでした。
2. 実施主体 特定非営利活動法人 日本せきずい基金
3. 調査協力 一般社団法人日本損害保険協会の支援を受けて行われました。
4. 実施期間 令和3年7-9月
5. 調査対象 公益社団法人日本脊髄損傷者連合会、全国頸髄損傷者連絡会、日本せきずい基金等に参加している生活期脊髄損傷者500名を予定しました。
6. 調査方法 調査の実施はシミックヘルスケア・インスティテュート株式会社に委嘱して行われました。まず、郵送にて本研究への参加を依頼する説明文書（調査プログラムを組み込んだサイトへのURLに関する情報を同封）、同意書およびアンケート用紙を送付しました。ウェブでの回答を希望する場合には、インターネットに接続可能な個人用コンピュータまたはスマートフォンにより調査サイトへアクセスしていただき、参加者から説明文書と同意書画面サイトにある同意事項確認欄への入力によるインフォームドコンセントを取得後、調査サイトの画面推移に従って回答を入力していただきました。郵送による回答を希望された場合は、同意書およびアンケート用紙に記入した後、返信していただきました。回答結果は調査実施者に送付され、集計した後、解析しました。
7. 倫理的配慮 調査開始にあたっては、外部の倫理審査委員会での審査を受けて承認を受けました。
8. 調査結果のまとめ 集計結果は、徳島赤十字ひのみね総合療育センター加藤真介氏、京都大学大学院岩隈美穂氏によりまとめられました。

## 第1章 調査の目的・方法・対象など

### 目的

脊髄損傷者の多くを占める外傷性脊髄損傷の様相は大きく変化してきているといわれています。2018年の日本脊髄障害医学会による全国疫学調査では人口100万人当たり年間49人程度が新規に外傷性脊髄損傷を受傷しています。1990年代初頭の調査と比較しますと、発生頻度は約20%増え、受傷時平均年齢は48.6才から66.5才に上昇しており、高齢者の頸髄不全損傷が中心となってきています(1, 2)。

悪性腫瘍の脊椎転移による麻痺も大きな問題です。麻痺が発生することは原疾患のステージとしては末期になり、以前は麻痺をもったままの長期に渡って生活を送ることは、あまり想定してませんでした。ところが、近年の医学の進歩により、原疾患がコントロールされ、麻痺との長期間の共棲が必要となっている場合も少なくありません。

日本での生活期脊髄損傷患者は約10～15万人と言われてはいますが、正確に把握されていません。脊髄損傷者は認知機能面で問題はなく、環境を整えば有意義な社会生活を送り、社会に貢献することができます。世界保健機関(WHO)は脊髄損傷者が豊かな生活を送れることは、ほかの多くの障がい者にとっても望ましい社会であると捉えています(3)。1964年の東京パラリンピックを契機に社会参加は進んだといわれますが、現状はどうなのでしょう。

生活期脊髄損傷者の生活の実態については、全国頸髄損傷者連絡会やNPO法人沖縄県脊髄損傷者協会(沖脊協)が行われた調査はありますが、全国規模ですべての方に対応したものではありませんでした。そこで今回、沖脊協でのアンケートに準じた調査を全国規模で行いました。

### 方法

実施期間 令和3年7-9月

調査対象 公益社団法人日本脊髄損傷者連合会、全国頸髄損傷者連絡会、日本せきずい基金等に参加している生活期脊髄損傷者500名を予定しました。

調査方法 調査の実施はシミックヘルスケア・インスティテュート株式会社に委嘱して行われました。まず、郵送で本研究への参加を依頼する説明文書(調査プログラムを組み込んだサイトへのURLに関する情報を同封)、同意書およびアンケート用紙を送付しました。ウェブでの回答を希望する場合には、インターネットに接続可能な個人用コンピュータまたはスマートフォンにより調査サイトへアクセスしていただき、参加者から説明文書と同意書画面サイトにある同意事項確認欄へ

の入力によるインフォームドコンセントを取得後、調査サイトの画面推移に従って回答を入力していただきました。郵送による回答を希望された場合は、同意書およびアンケート用紙に記入した後、返信していただきました。回答結果は調査実施者

	人数	割合	に送付され、集計した後、解析しました。得られた同意は 849 名で、このうち、有効回答は 800 名でした。
男	641	80.1%	倫理的配慮 調査開始にあたっては、外部の倫理審査委員会での審査を受けて承認を受けました。
女	150	18.8%	
その他	2	0.3%	
未回答	7	0.9%	
合計	800	100.0%	

## 調査結果のまとめ

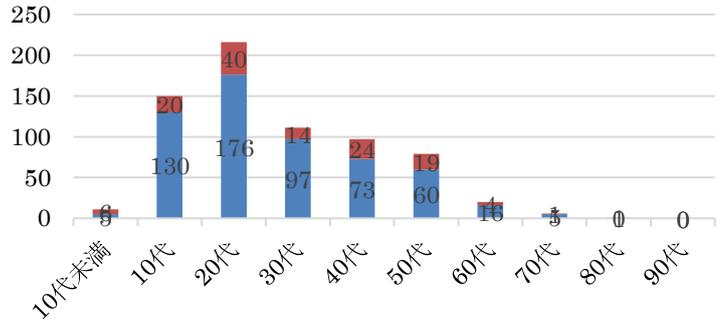
集計結果は、徳島赤十字ひのみね総合療育センター加藤真介氏、京都大学大学院岩隈美穂氏によりまとめられました。加藤氏は、麻痺の高位（四肢麻痺か対麻痺か）、麻痺の重症度（完全麻痺が不完全麻痺か）別に集計し、それぞれの特徴を明らかにしようとしてしました。岩隈氏は、「身体についての悩み」に関連する因子を検討しました。

1. Shingu H, Ohama M, Ikata T, Katoh S, Akatsu T. A nationwide epidemiological survey of spinal cord injuries in Japan from January 1990 to December 1992. *Paraplegia*. 1995;33(4):183-8.
2. Miyakoshi N, Suda K, Kudo D, Sakai H, Nakagawa Y, Mikami Y, et al. A nationwide survey on the incidence and characteristics of traumatic spinal cord injury in Japan in 2018. *Spinal Cord*. 2021;59(6):626-34.
3. Bickenbach J, Officer A, Shakespeare T, von Groote P, The International Spinal Cord Society, World Health Organization. *International perspectives on spinal cord injury*. Geneva: World Health Organization; 2013. xiii, 231 p. p.

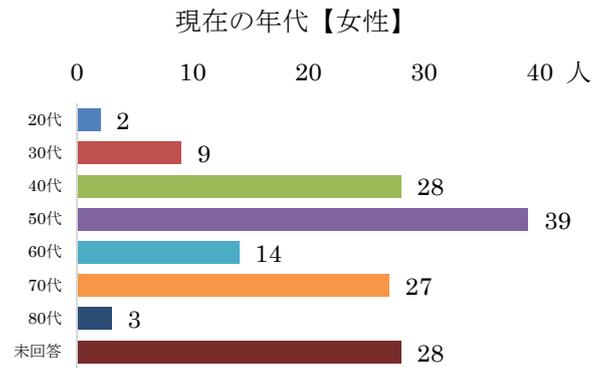
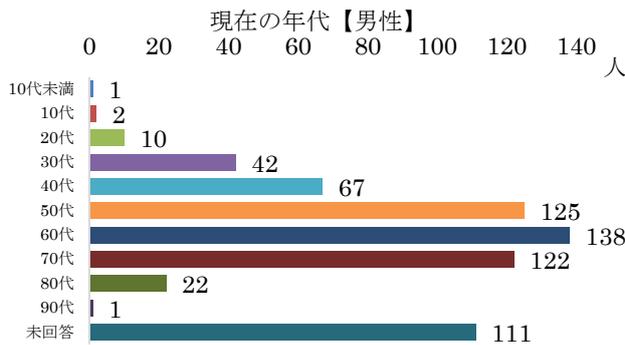
## 第2章 麻痺の状態別解析

### 回答者の概要

発症時年齢 平均 32.2 才

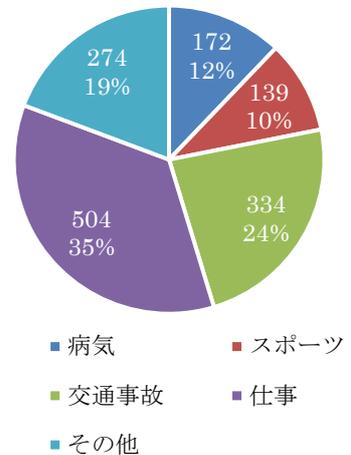
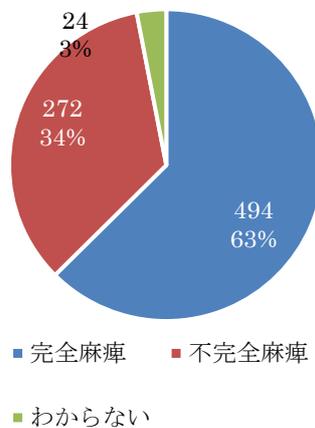
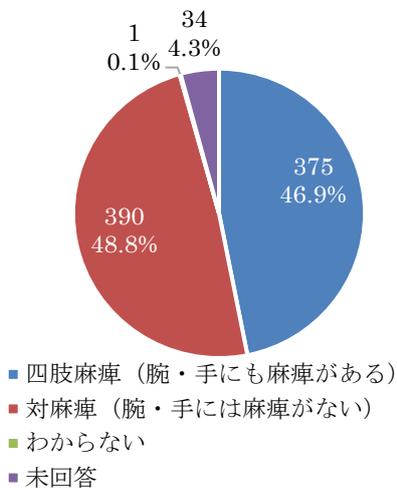


現在の年齢 平均 59.1 才



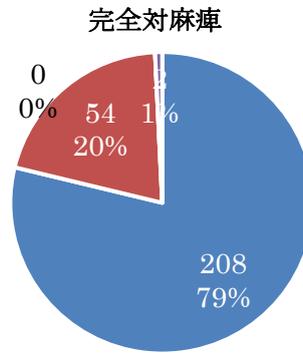
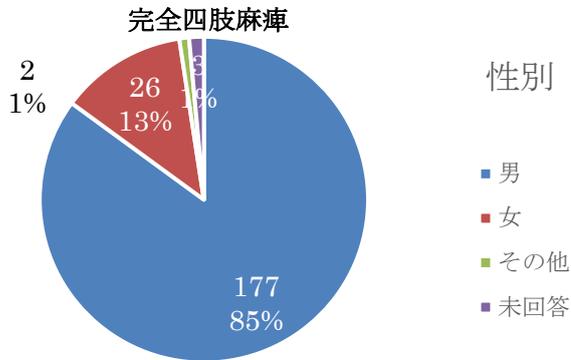
受傷後の期間： 最長 69 年 平均 27.4 年

### 麻痺の状態と原因

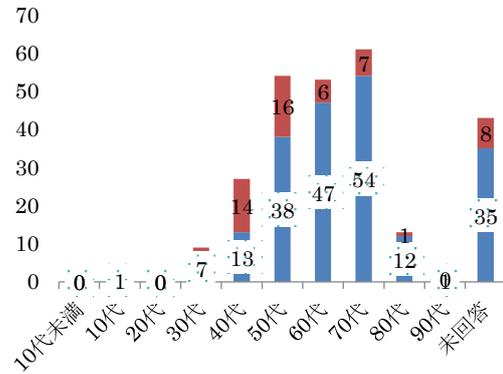
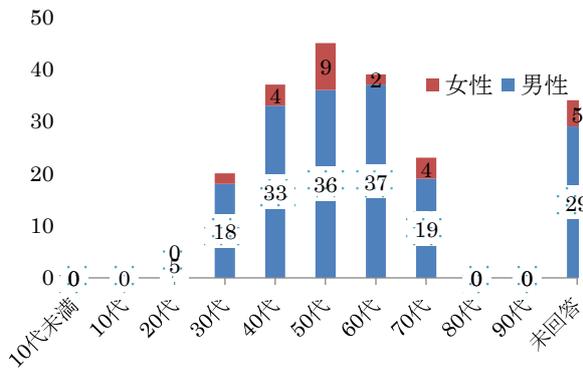


# 麻痺の状態による比較

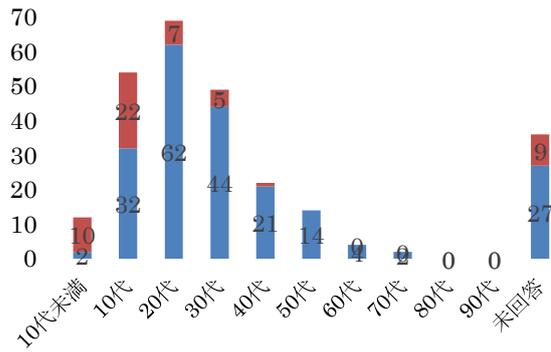
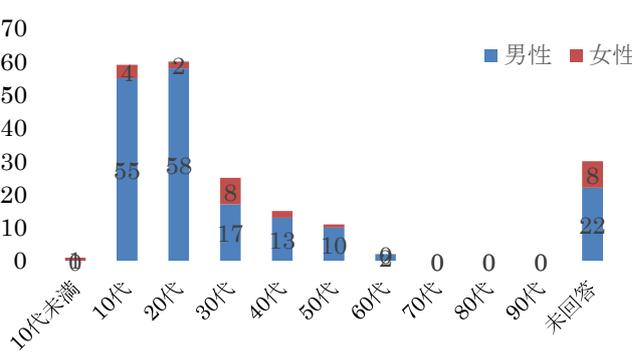
完全麻痺 四肢麻痺：対麻痺



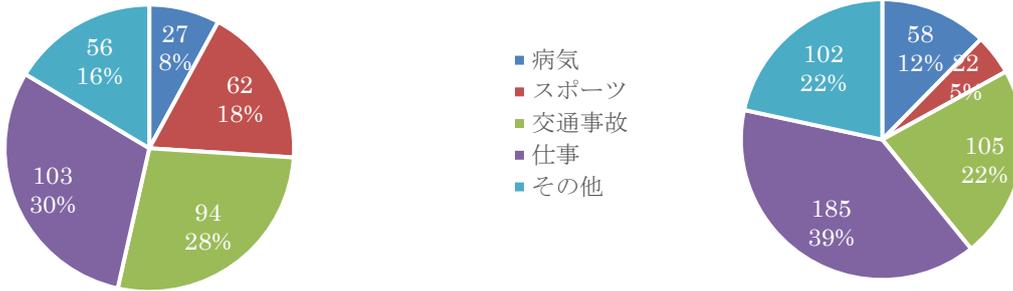
## 年齢（現在）



## 年齢（発症）



### 麻痺の原因

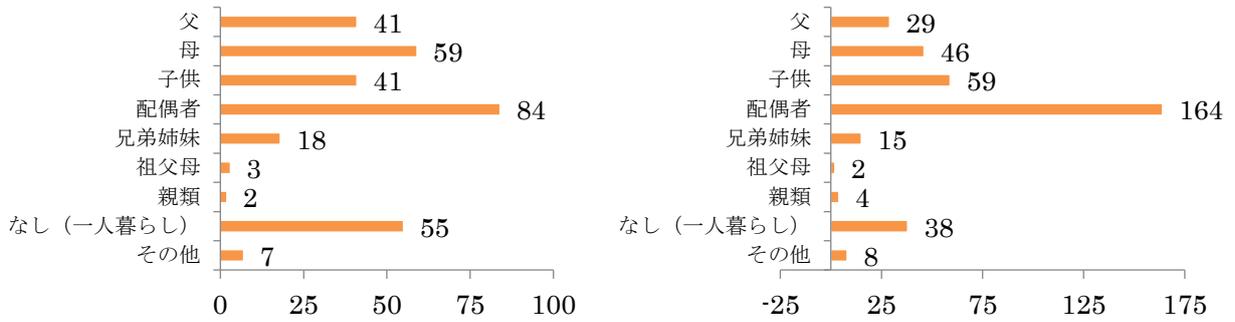


### 生活の場所 在宅：病院：施設：その他：未回答

95.2% : 0.5% : 2.9% : 1.0% : 0.5%

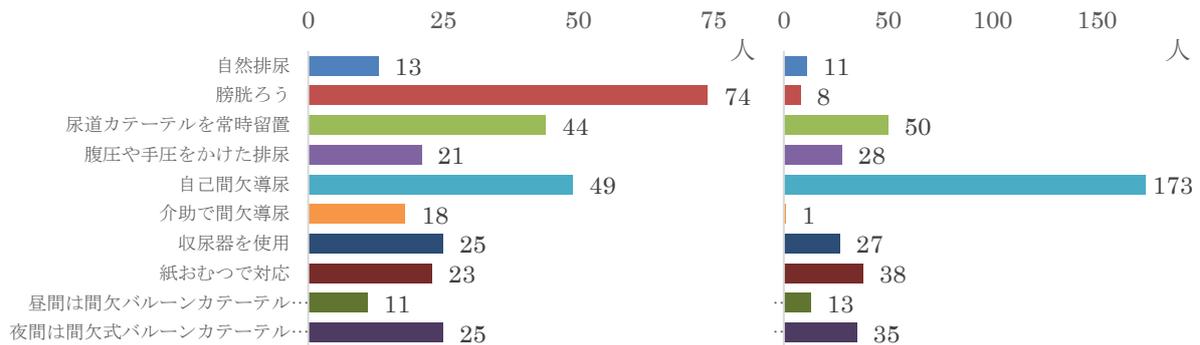
97.7% : 0.8% : 0.4% : 1.1% : 0%

### 同居者

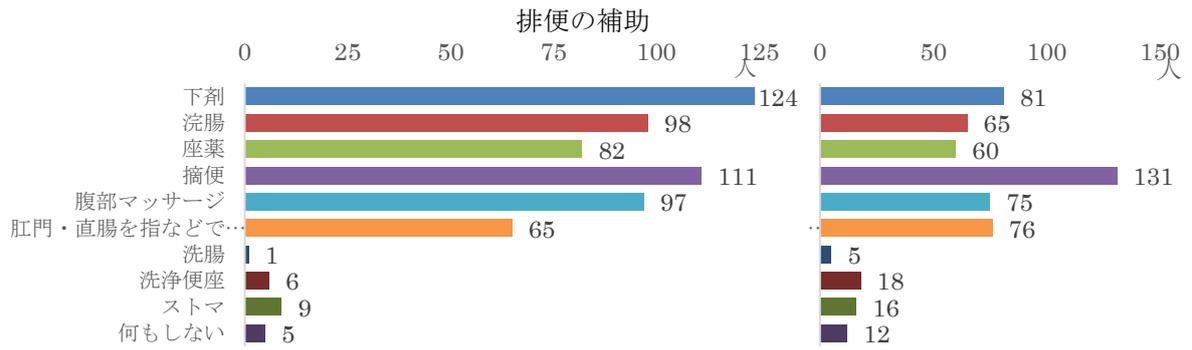
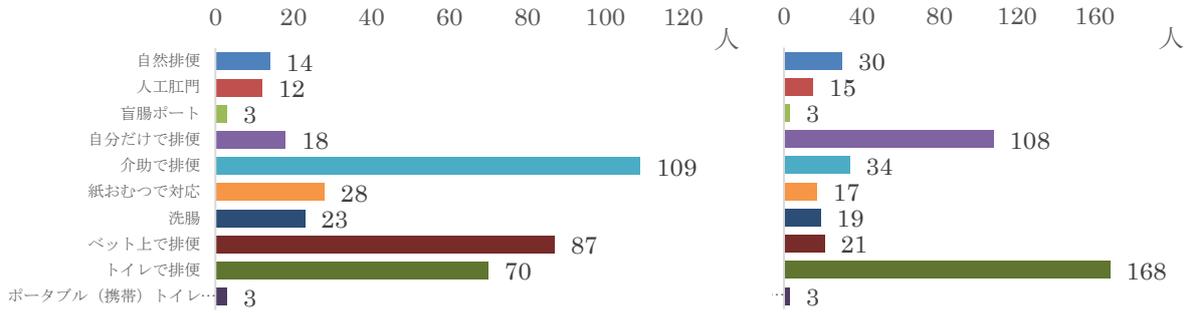


### 排泄

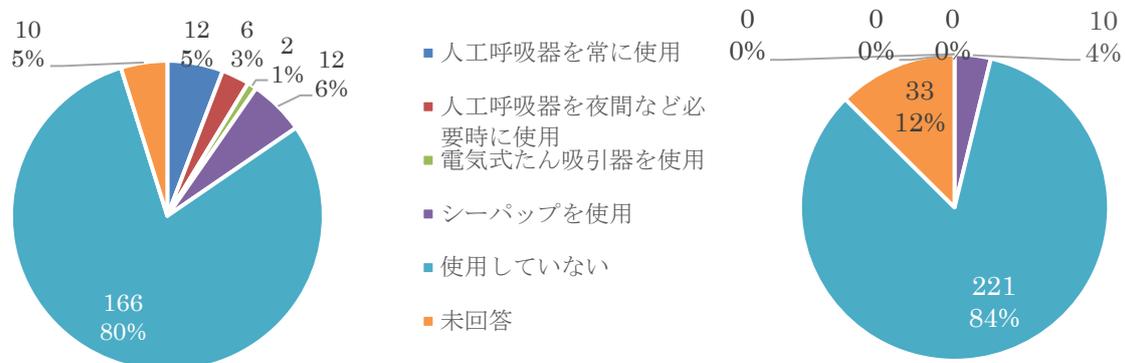
#### 排尿方法



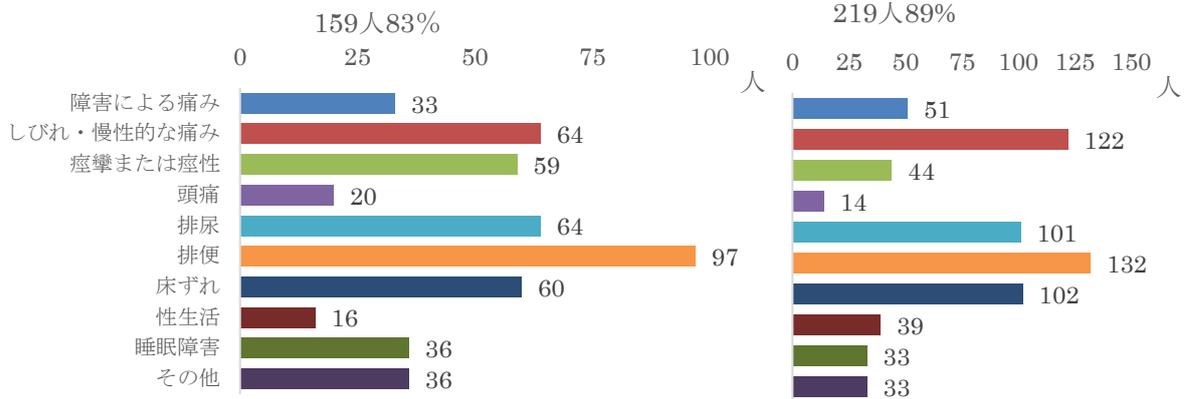
### 排便方法（複数回答可）



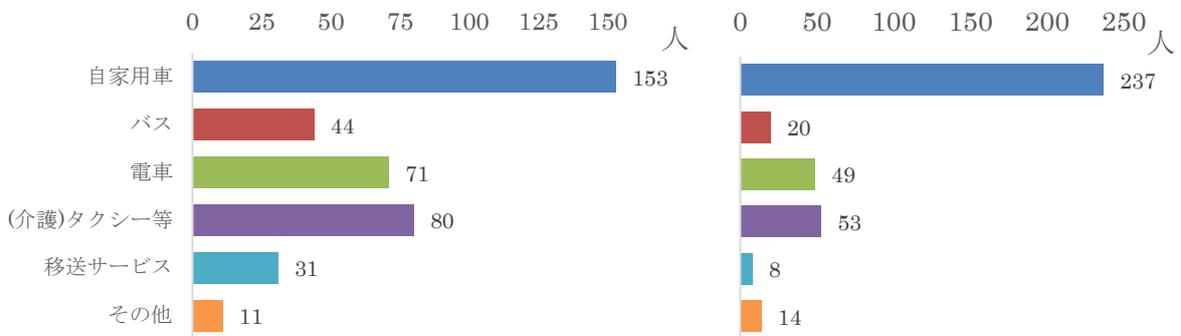
### 呼吸管理



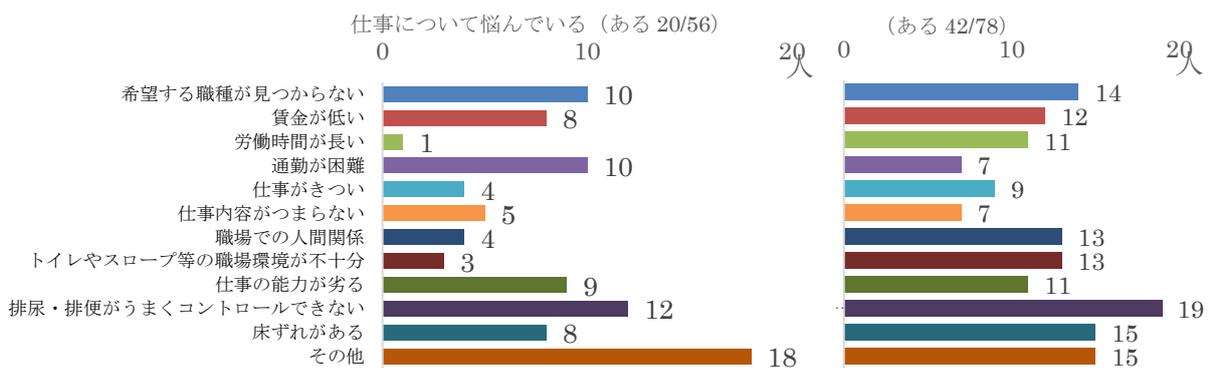
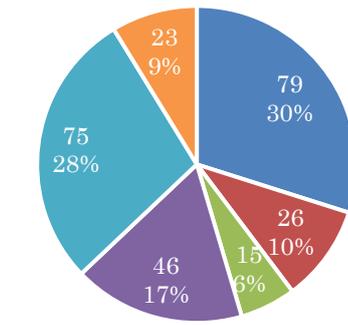
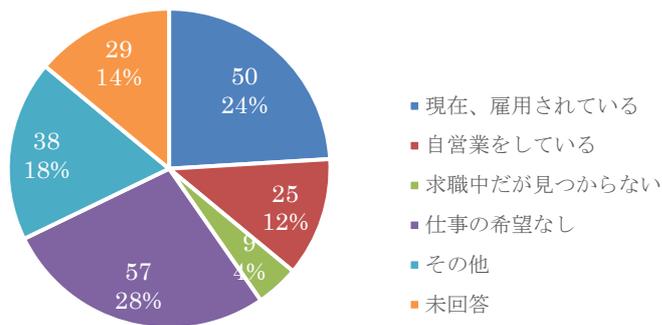
## 身体の事で特に悩んでいること



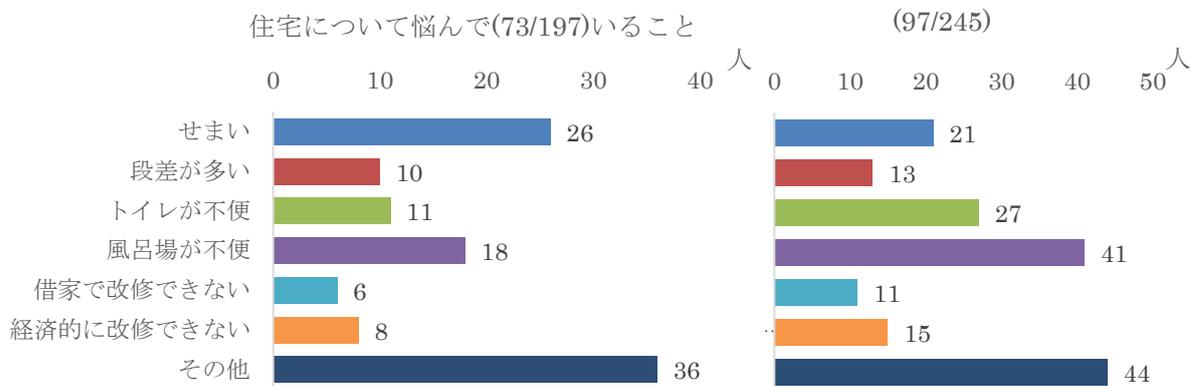
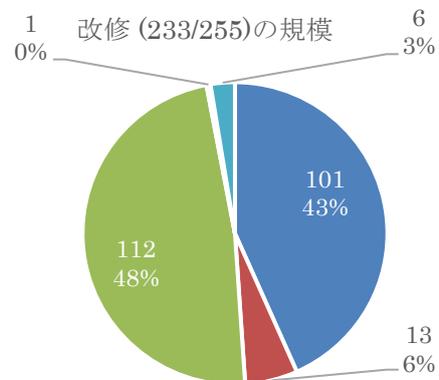
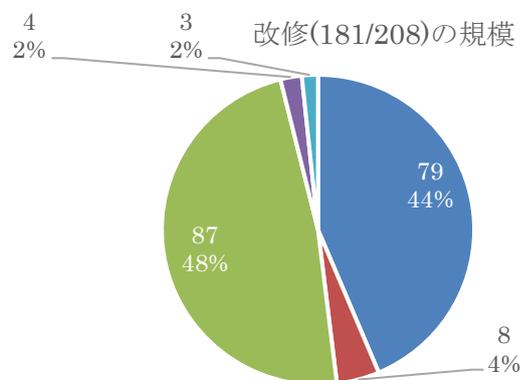
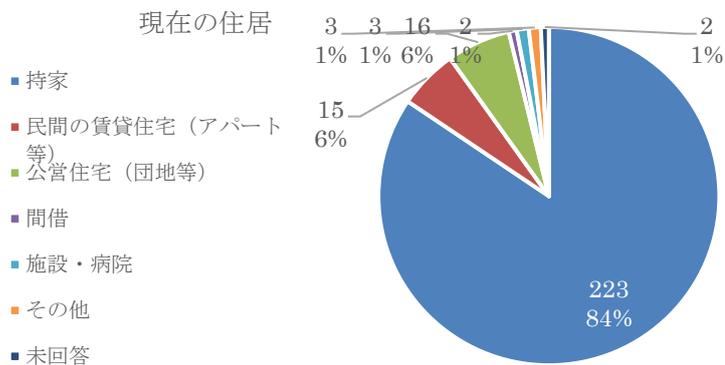
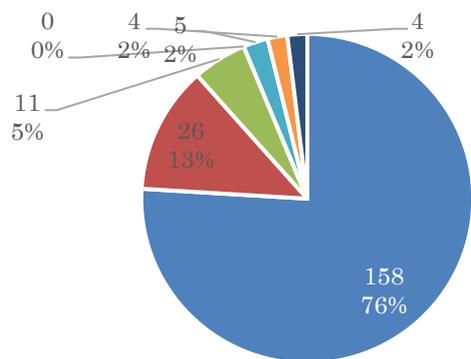
## 移動・外出の際の交通手段



## 就業

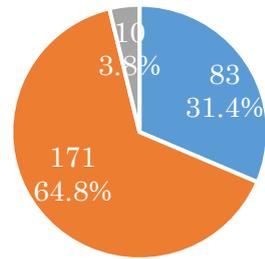
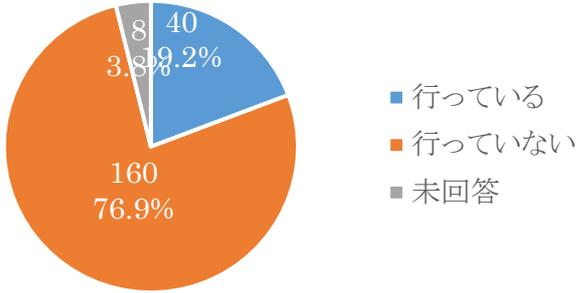


## 住居

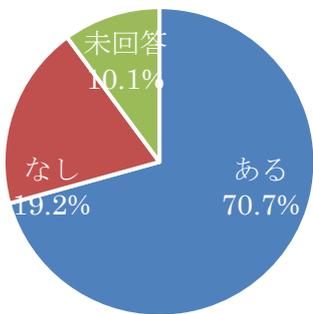


生活

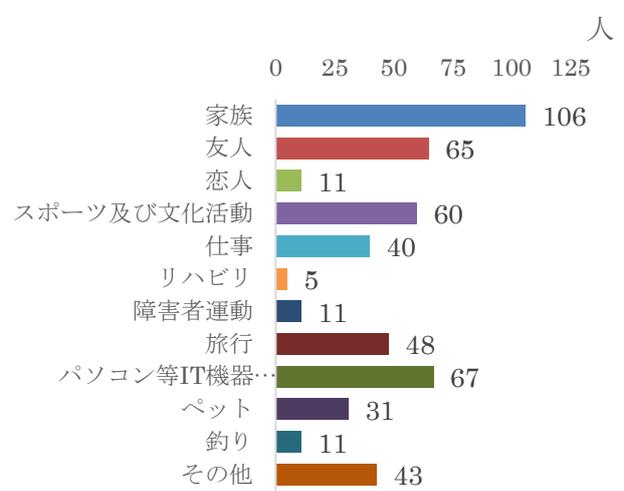
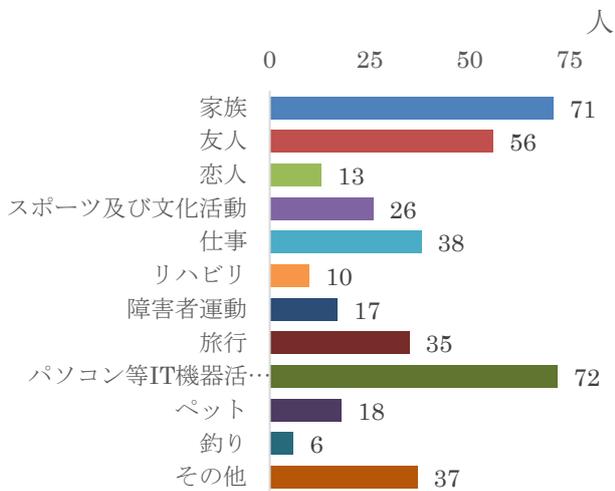
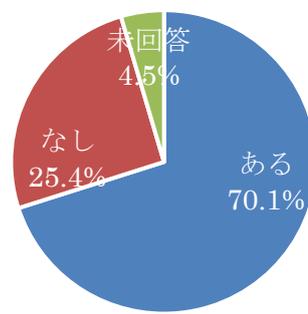
現在スポーツ活動を行っていますか



生活上の楽しみや生きがい

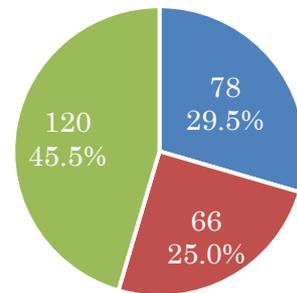
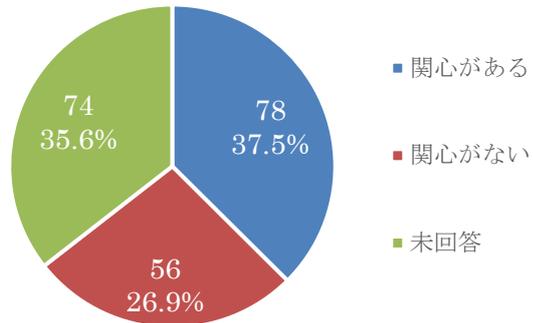


生活上の楽しみや生きがい

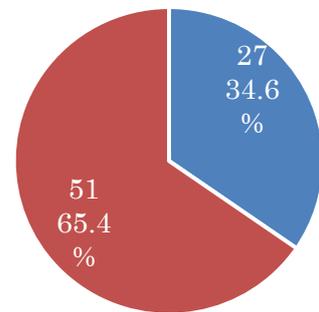
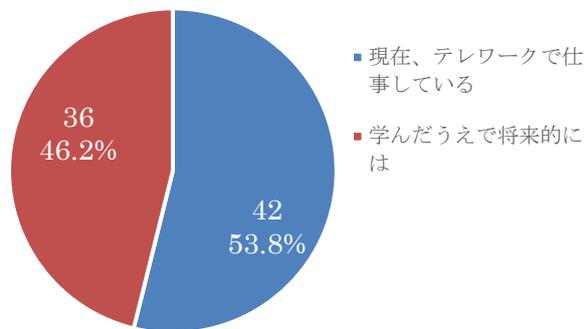


## テレワーク

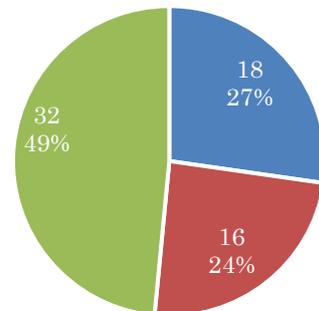
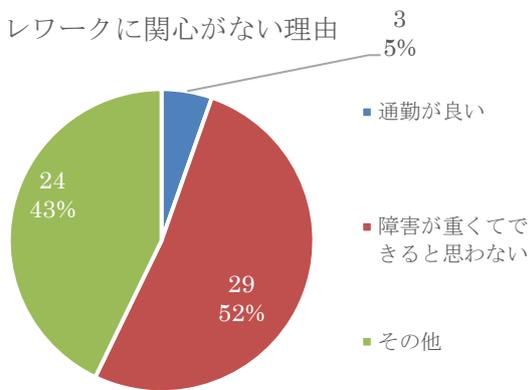
テレワークでの働き方に関心がありますか。



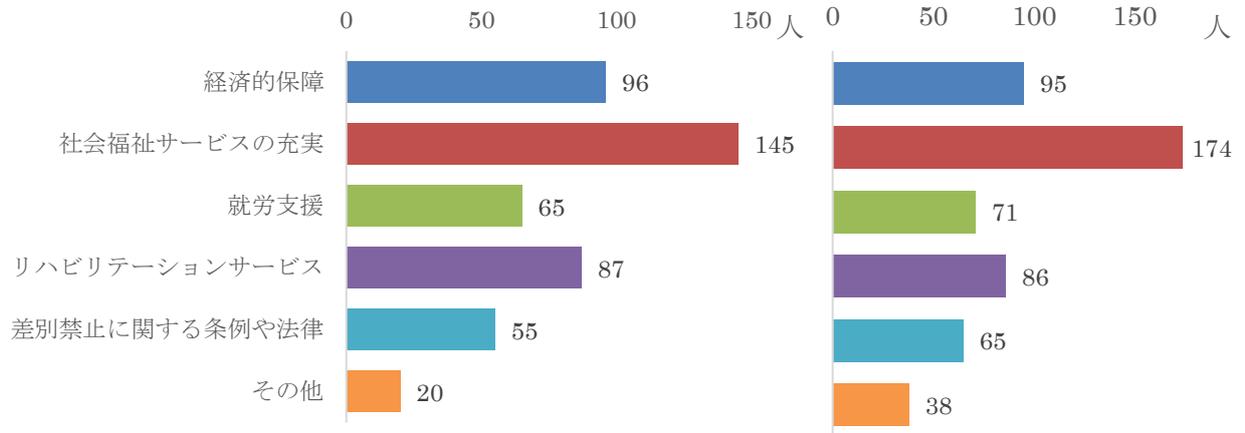
どのような関心がありますか



テレワークに関心がない理由

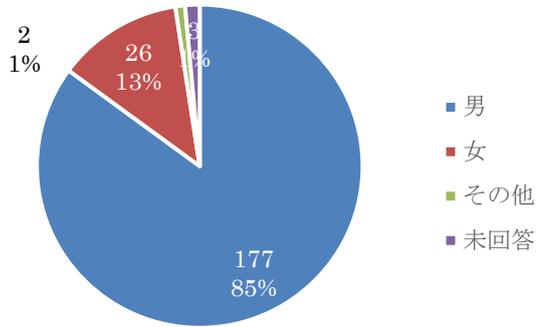


## 行政への期待

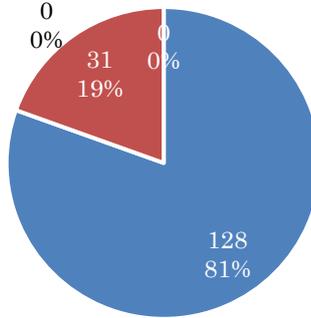


四肢麻痺 完全麻痺：不全麻痺

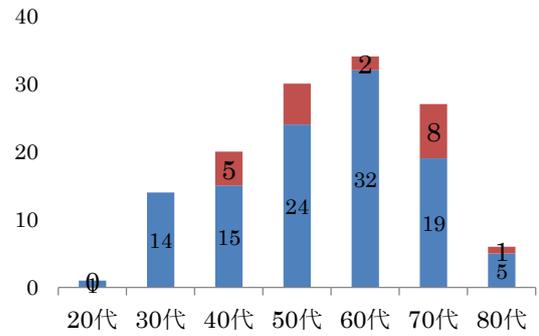
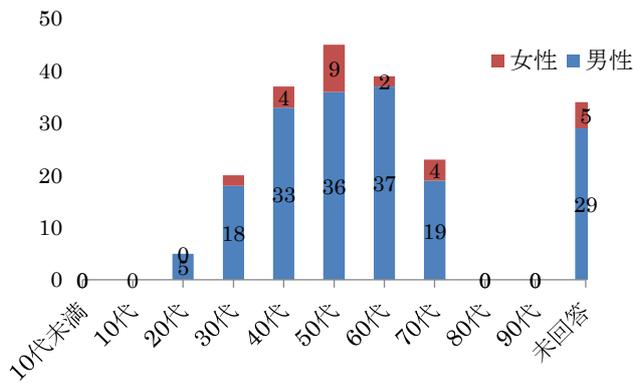
四肢完全麻痺



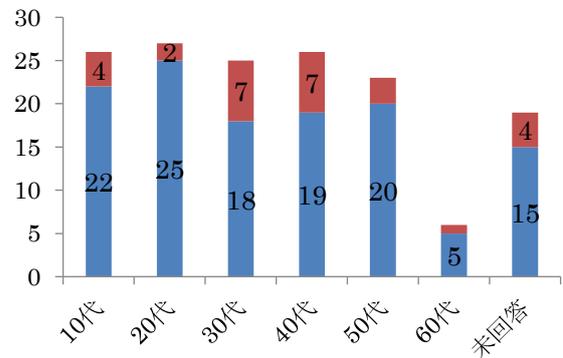
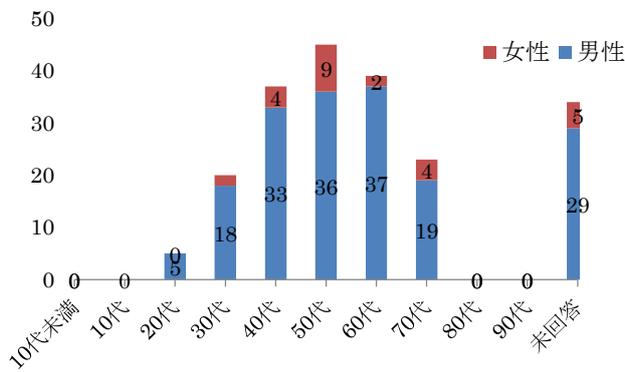
四肢不全麻痺



年齢（現在）



年齢（発症）



### 麻痺の原因

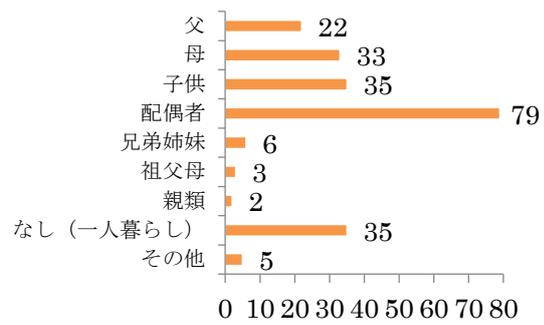
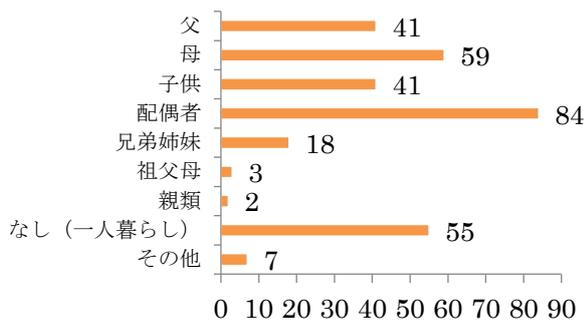


### 生活の場所 在宅：病院：施設：その他：未回答

95.2% : 0.5% : 2.9% : 1.0% : 0.5%

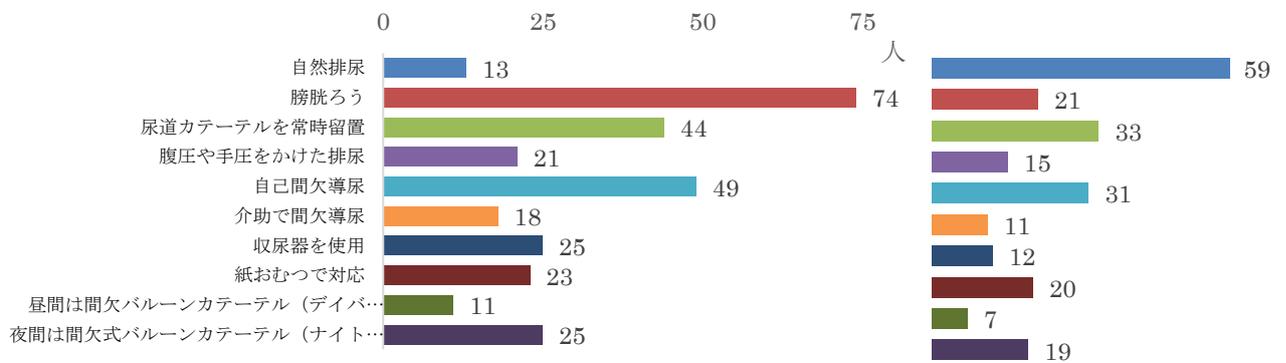
94.3% : 2.5% : 2.5% : 0.6% : 0%

### 同居者

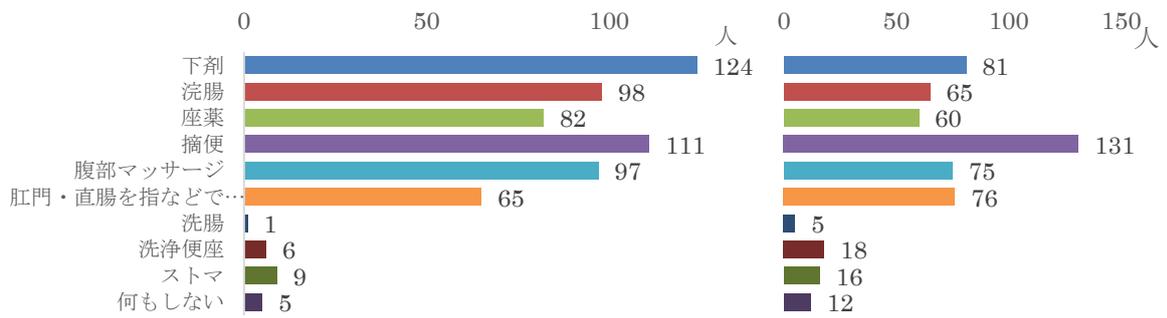
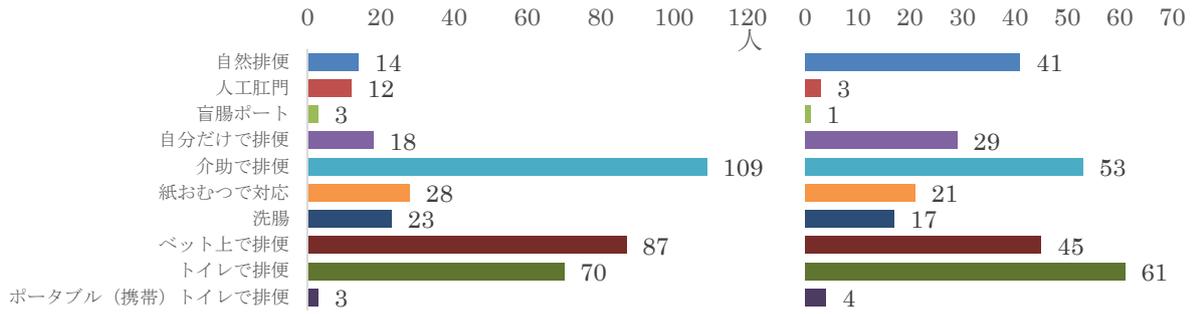


### 排泄

#### 排尿方法



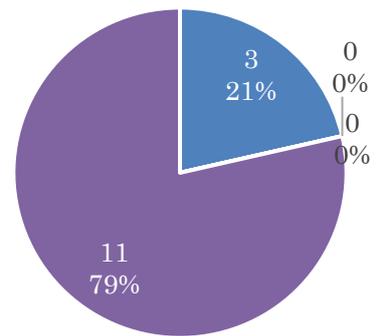
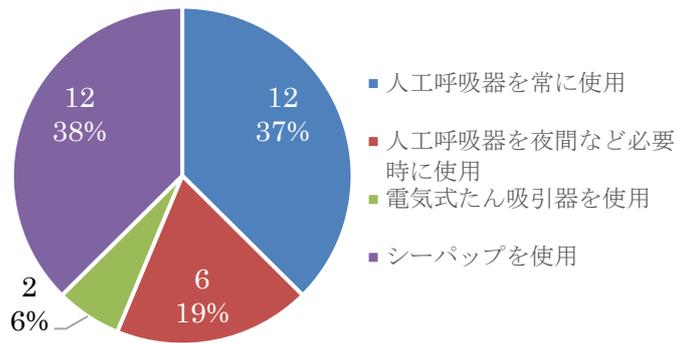
排便方法（複数回答可）



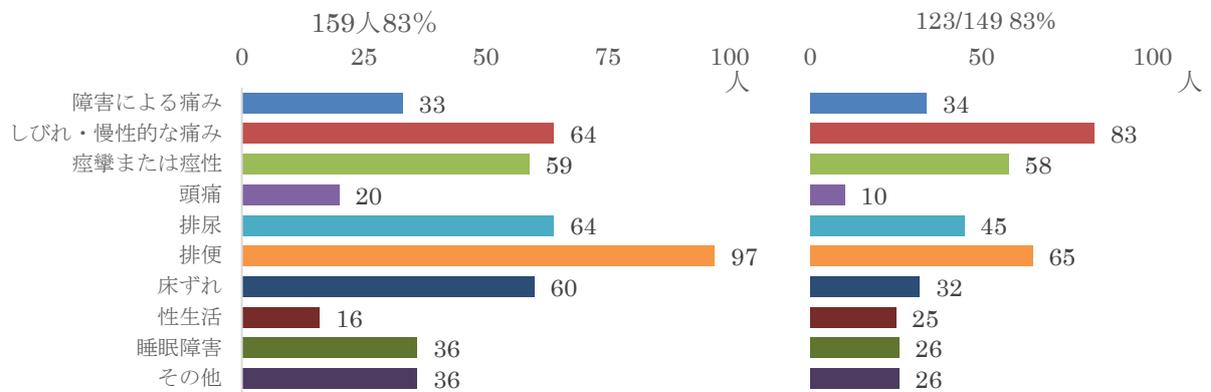
排便に要する平均時間



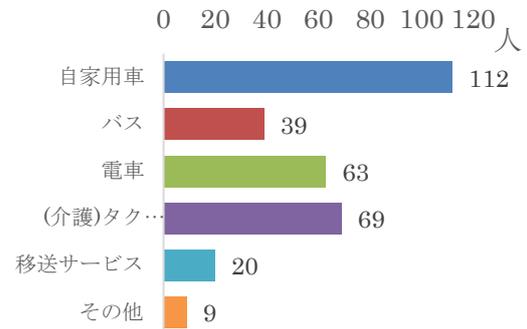
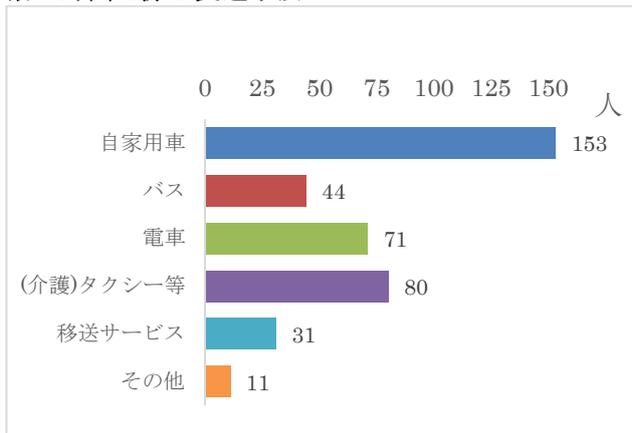
## 呼吸管理



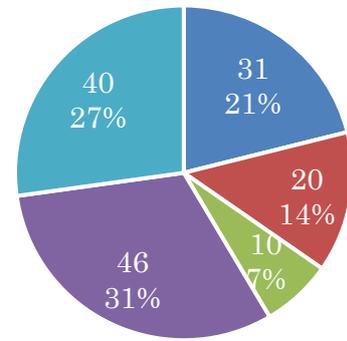
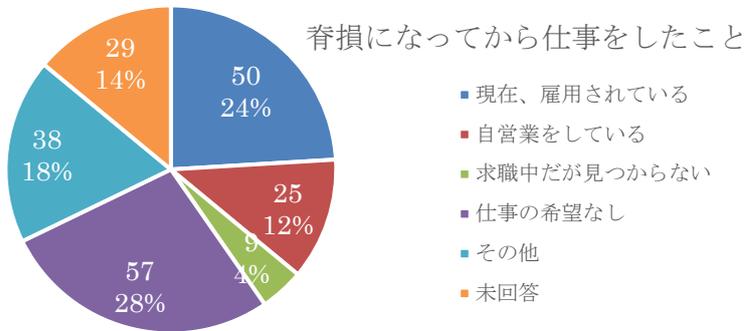
## 身体の事で特に悩んでいること



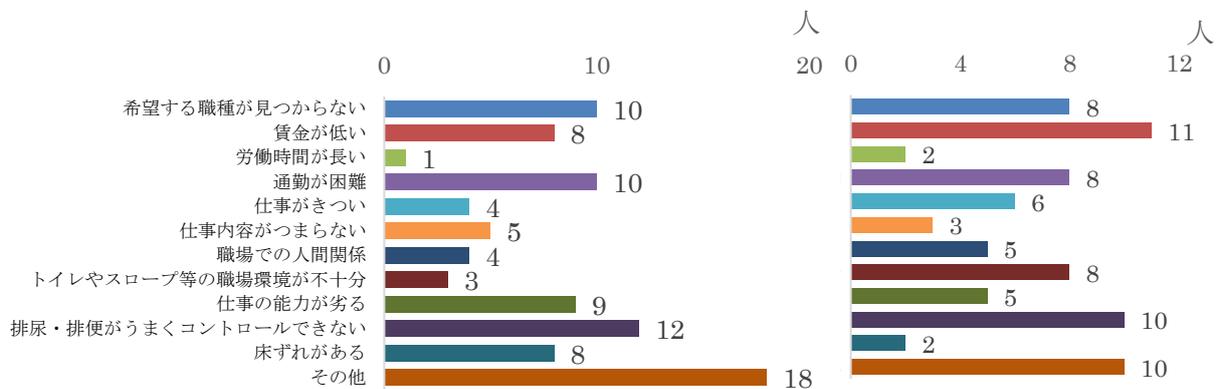
## 移動・外出の際の交通手段



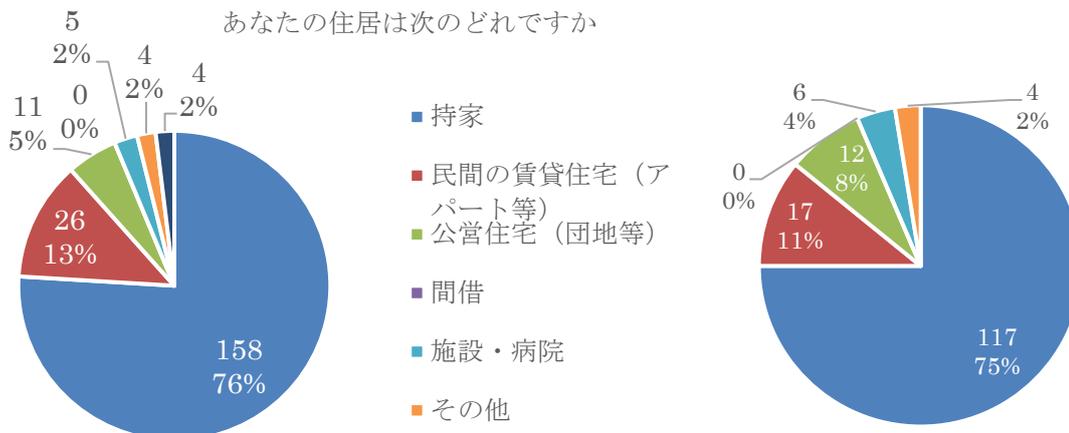
## 就業



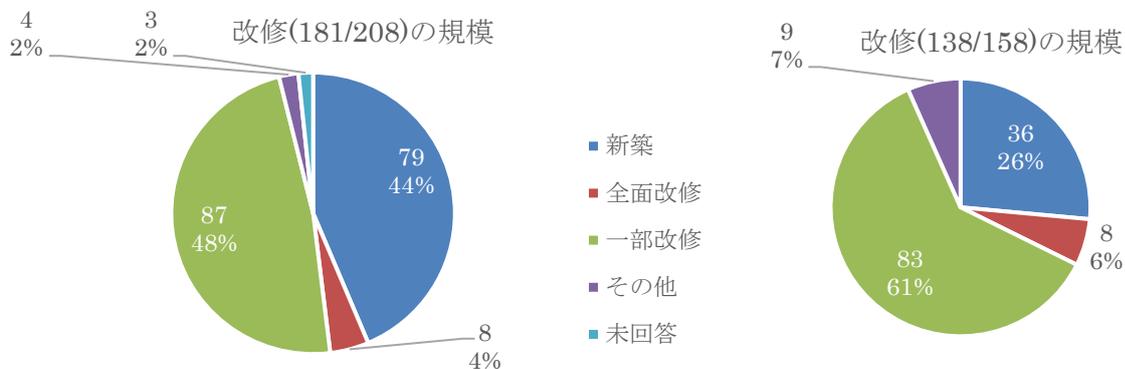
## 仕事について悩んでいること



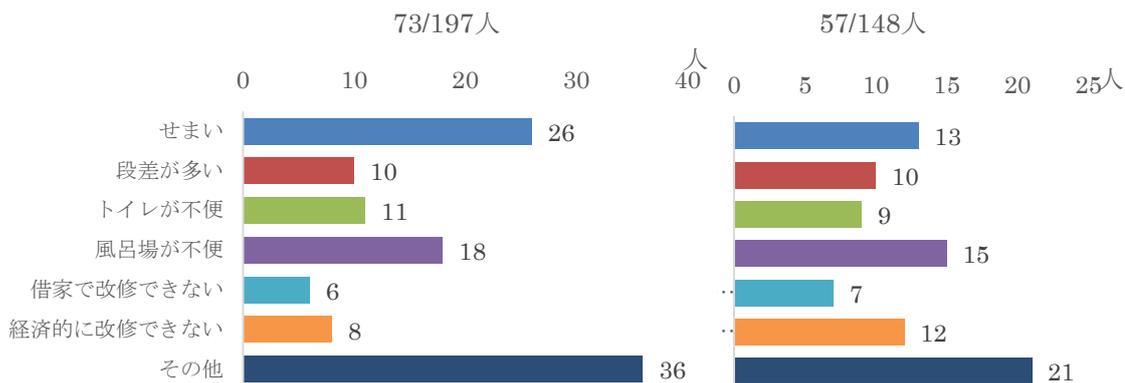
## 住居



## 改修



## 住宅についての悩み



生活

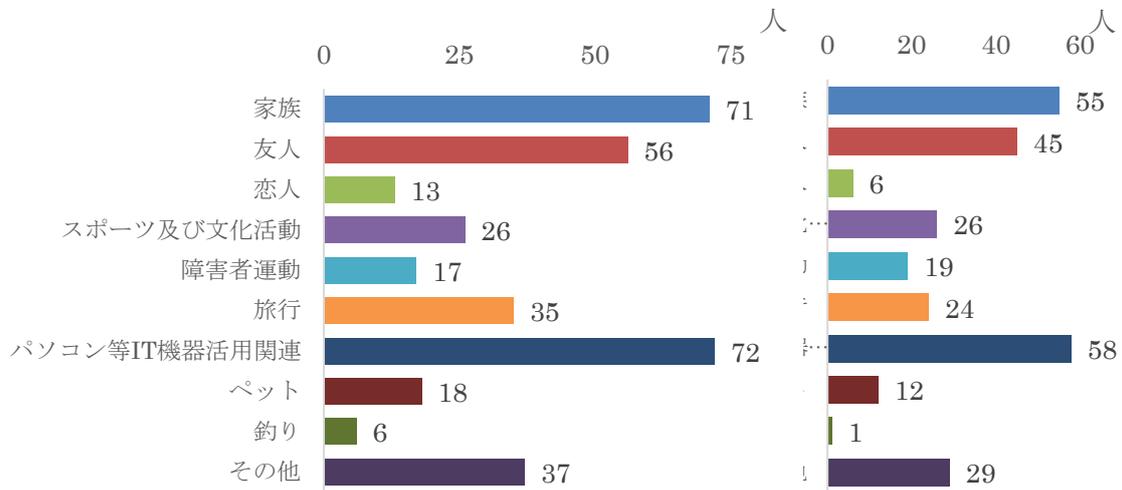
現在スポーツ活動を行っていますか



生活上の楽しみや生きがい

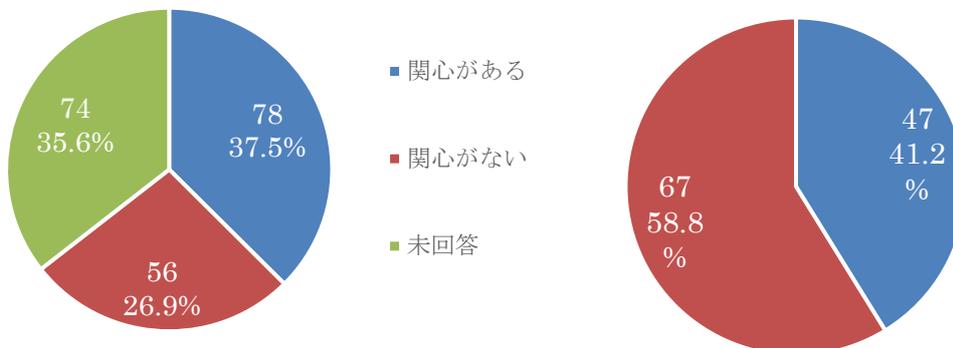


生活上の楽しみや生きがいは次のどれですか。

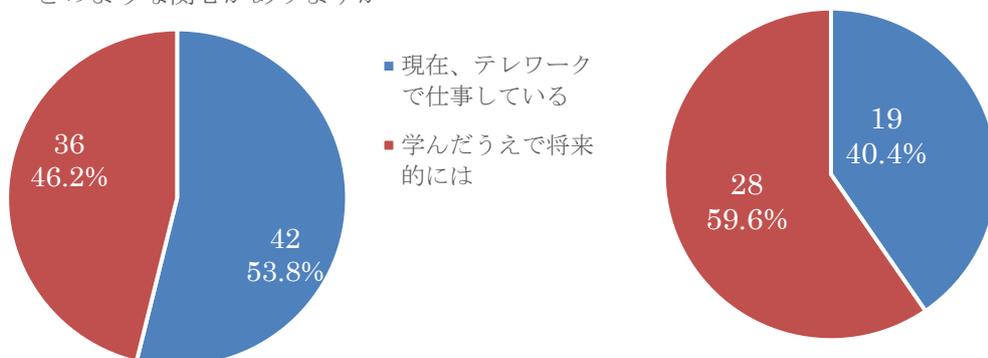


## テレワーク

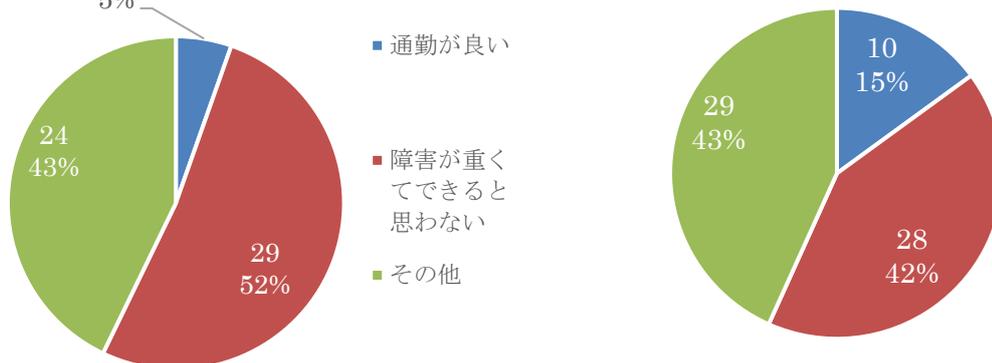
テレワークでの働き方に関心がありますか。



どのような関心がありますか

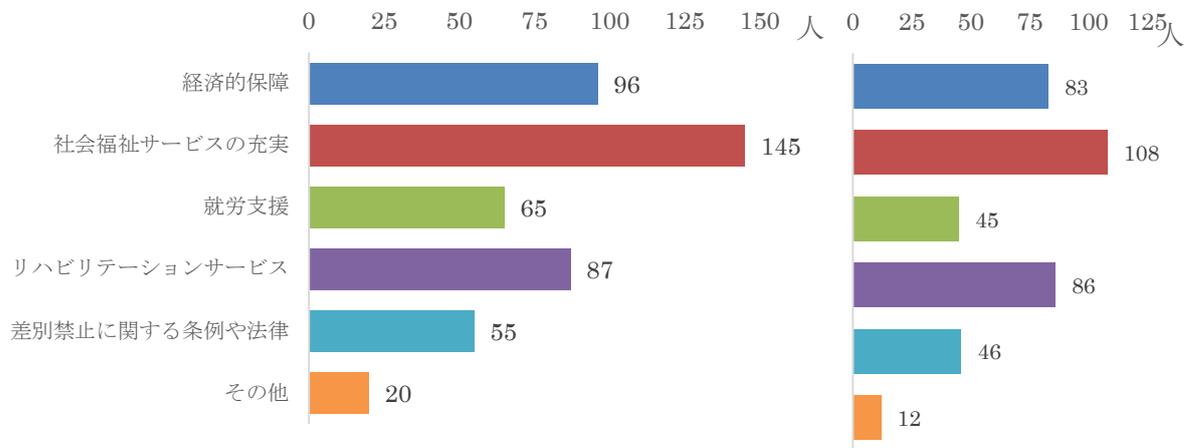


3 テレワークに関心がない理由



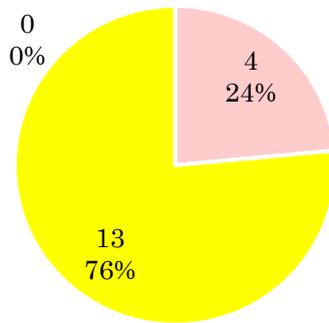
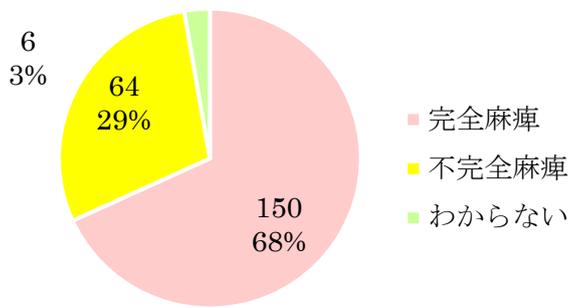
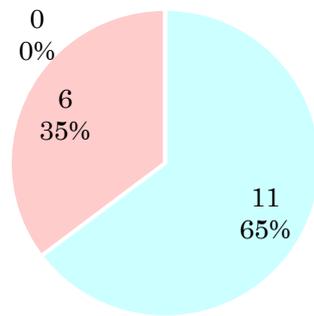
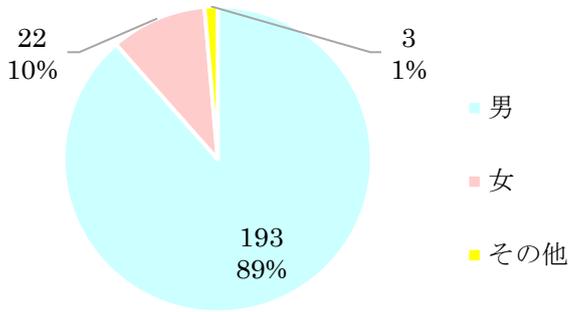
## 行政への期待

行政に期待することは何ですか

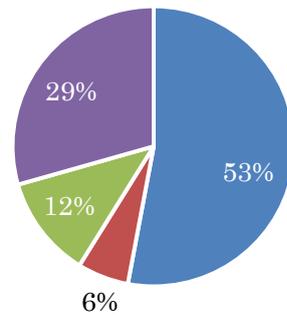
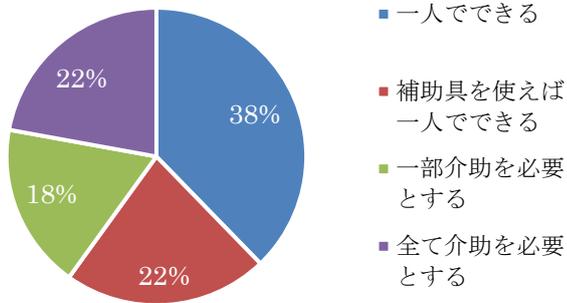


頸髄損傷（高齢受傷の影響）

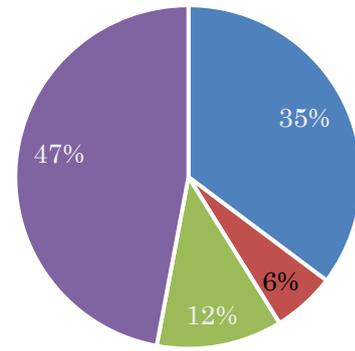
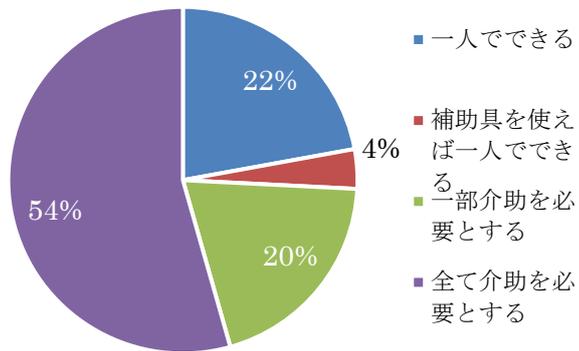
受傷時 30 才以下 (218 人: 20.7 才) : 60 才以上 (17 人: 67.7 才)



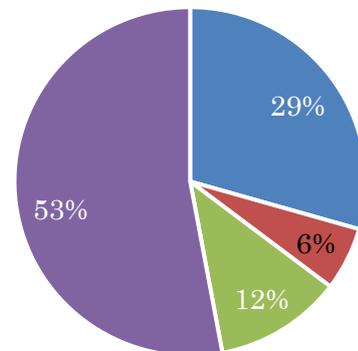
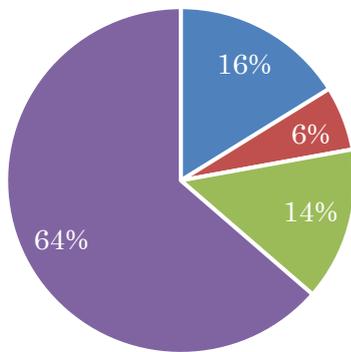
食事



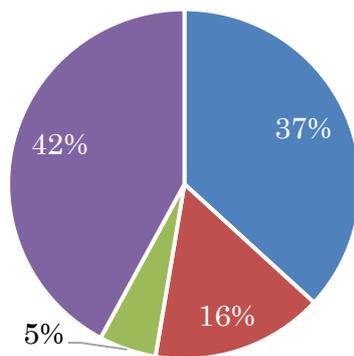
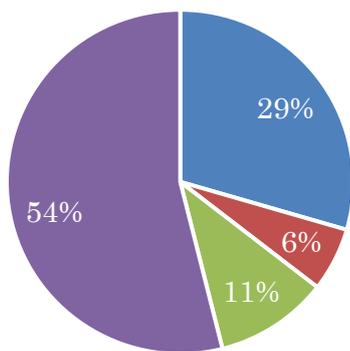
更衣



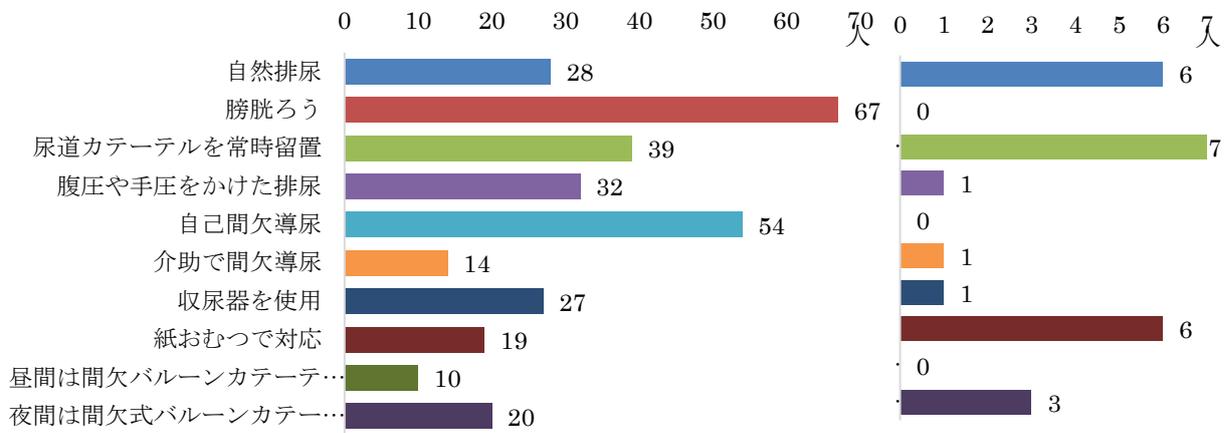
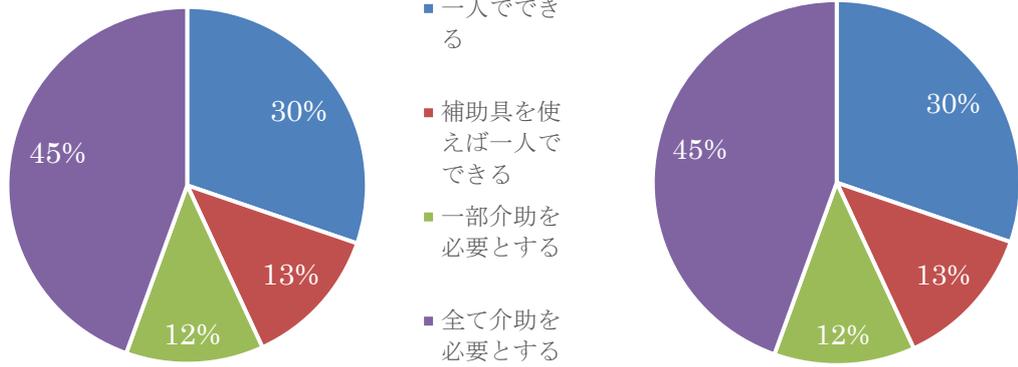
入浴



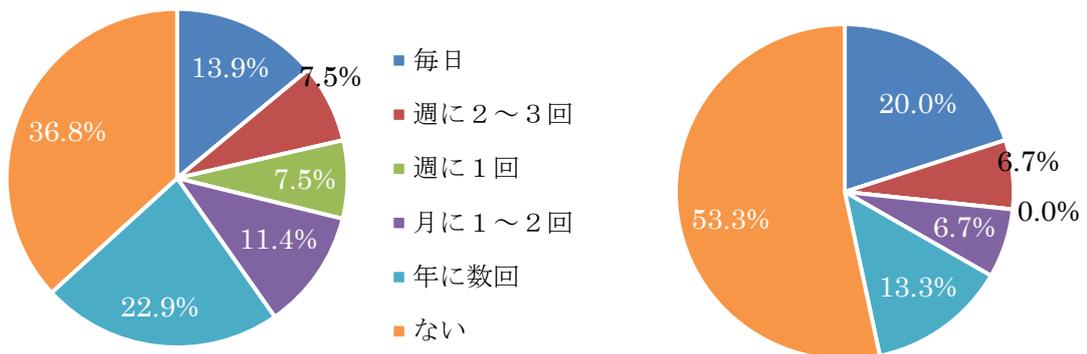
移乗



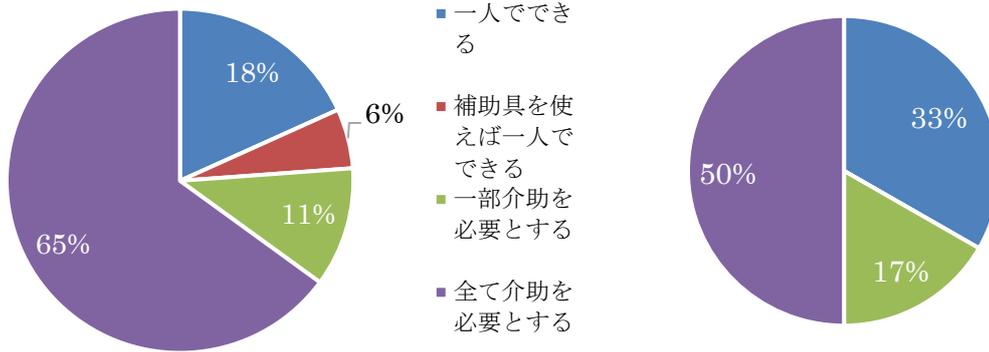
# 排尿



# 尿失禁の回数

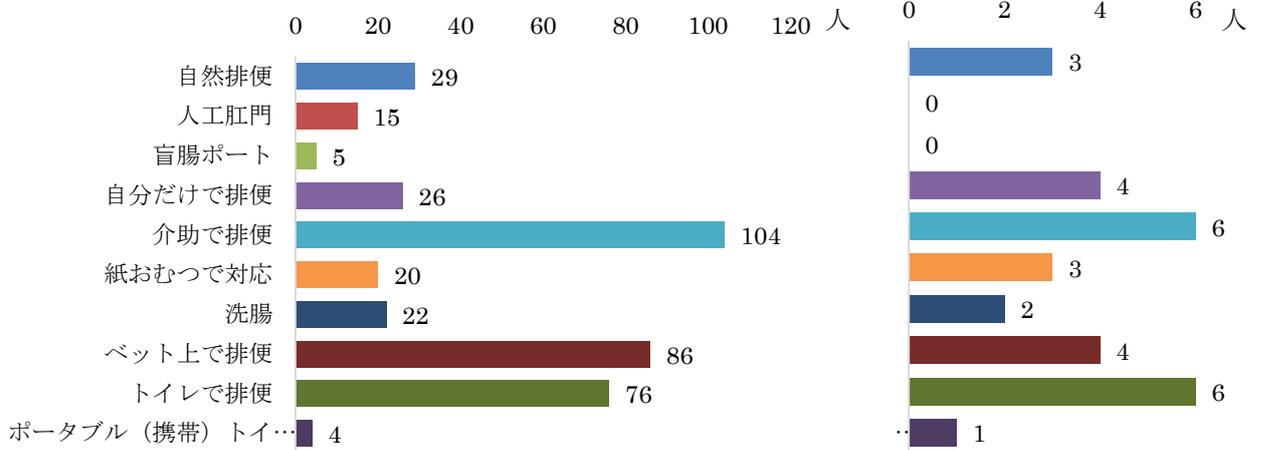


排便

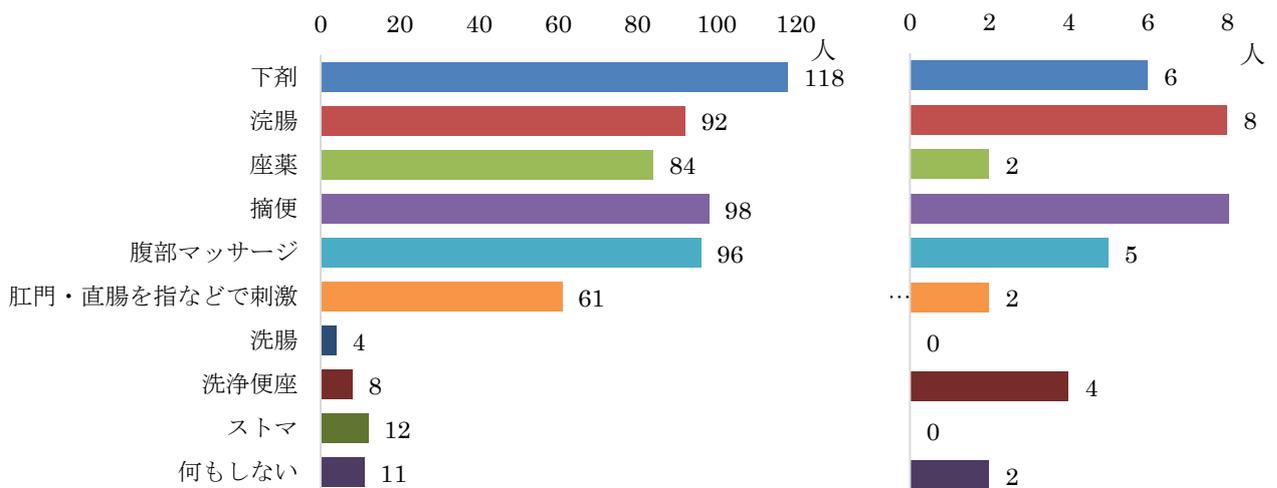


排便

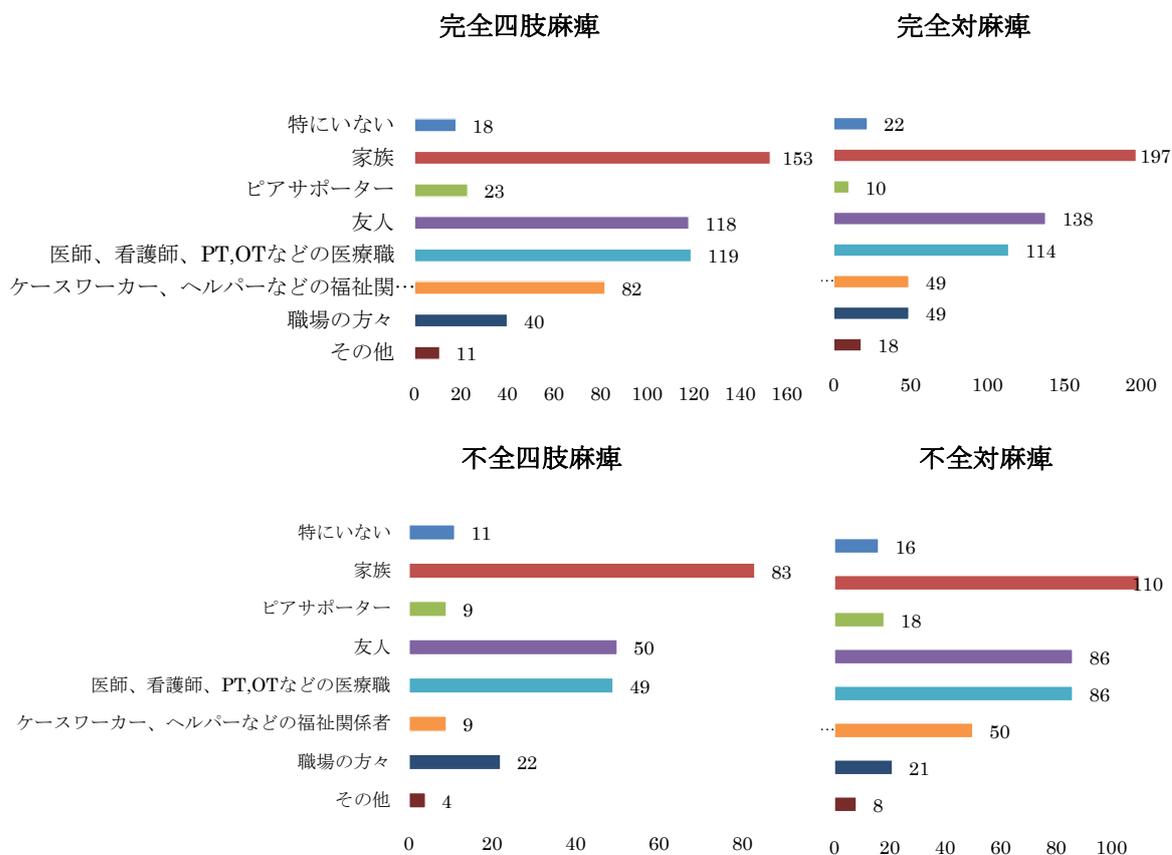
排便の方法



排便誘発の方法



周囲に障害について理解・励ましてくれた人（複数回答可）



ピアサポーターと答えた人

全体

発症後年数	人数	割合
- 10年	7 / 88	8.0%
11 - 20年	20 / 180	11.1%
21 - 30年	13 / 167	7.8%
31 - 40年	13 / 161	8.1%
41年 -	2 / 148	1.4%

30才以下で受傷した頸髄損傷 (24/220)

発症後年数	人数	割合
- 10年	1 / 9	11.1%
11 - 20年	8 / 44	18.2%
21 - 30年	3 / 47	6.4%
31 - 40年	10 / 74	13.5%
41年 -	1 / 37	2.6%

## 第2章のまとめ

- ・ 麻痺をきたしてから平均27年を経過した800名という多数の方にお答えいただいた、生活期の生活状況についてのアンケートは極めて貴重なものです。
- ・ 麻痺の高さ・重症度が、生活の質に直結することは言うまでもありませんが、高さ・重さ毎の違いを明らかにできればと考え、解析しました。
- ・ 麻痺の重症度はアンケートでは答えていただき難いので、完全麻痺と不完全麻痺の二つに分けたのみですが、ご回答いただいた方は不完全麻痺としても重症度が高い方が多いことが伺われました。
- ・ 四肢麻痺と対麻痺の比較では、日常生活の自立度や排泄方法には差はありますが、社会生活に関する困りごとにはあまり大きな差はなさそうです。
- ・ 最近、高齢で受傷される頸髄損傷の増加と既に脊髄損傷を負っていらっしゃる方の高齢化が問題とされています。そこで30才以下で受傷された方と60才以上で受傷された方を比較してみました。
- ・ 高齢で受傷された方は、不全麻痺が多いことがわかりました。ただ、日常生活での自立度については、若年で受傷された方にくらべて低い印象を受けました。
- ・ 今回のアンケート内容では、脊髄損傷を負っていらっしゃる方々が一旦獲得された能力を、お年を積み重なるとともに失っていくことや、脊髄損傷者の加齢による特徴的な問題を浮かび上がらせることが出来ませんでした。

### 第3章 「身体についての悩み」に関連する因子の検討

#### 初めに

先日はアンケート調査にご協力いただき、ありがとうございました。  
800名の会員方たちから回答いただき、多くの示唆を得ることができました。  
多くのデータの中から、今回は「身体についての悩み」について焦点を当てて、以下の報告をいたします。

#### 分析方法

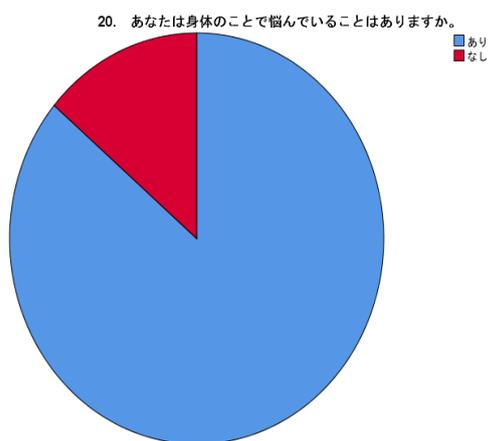
「身体の悩み」とほかの項目との関連を、クロス集計を行った後、 $\chi^2$ 乗検定とフィッシャーの正確確率検定を実施しました。

#### 結果

##### 1. 「身体についての悩み」の割合

###### 20. あなたは身体のことについて悩んでいることはありますか。

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	あり	638	79.7	86.2	86.2
	なし	102	12.7	13.8	100.0
	合計	740	92.4	100.0	
欠損値	システム欠損値	61	7.6		
合計		801	100.0		



86%以上の方が、何らかの「体についての悩み」についての悩みを抱えているようです。  
ただし悩みがない、と回答した方も13%いました。

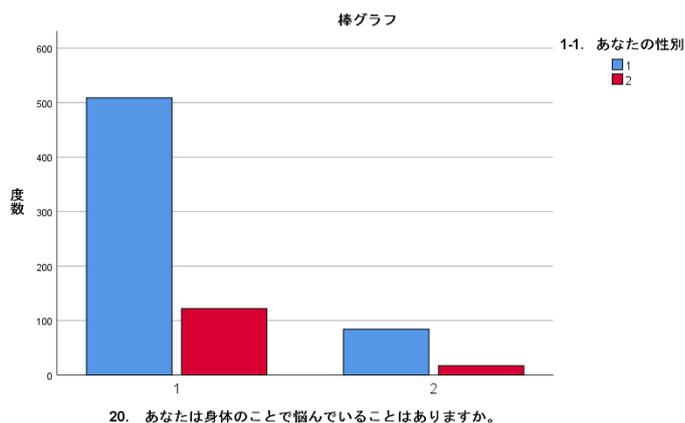
## 2. 性別との関連

20. 「あなたは身体のことと悩んでいることはありますか」と 1-1. あなたの性別

クロス表

		1-1. あなたの性別			
		男	女	合計	
20. あなたは身体のことと悩んでいることはありますか。	ある	度数	509	122	631
		総和の %	69.5%	16.7%	86.2%
		調整済み残差	-.6	.6	
	なし	度数	84	17	101
		総和の %	11.5%	2.3%	13.8%
		調整済み残差	.6	-.6	
合計		度数	593	139	732
		総和の %	81.0%	19.0%	100.0%

※これ以降のクロス表内の「あり」は1、「なし」は2で表示



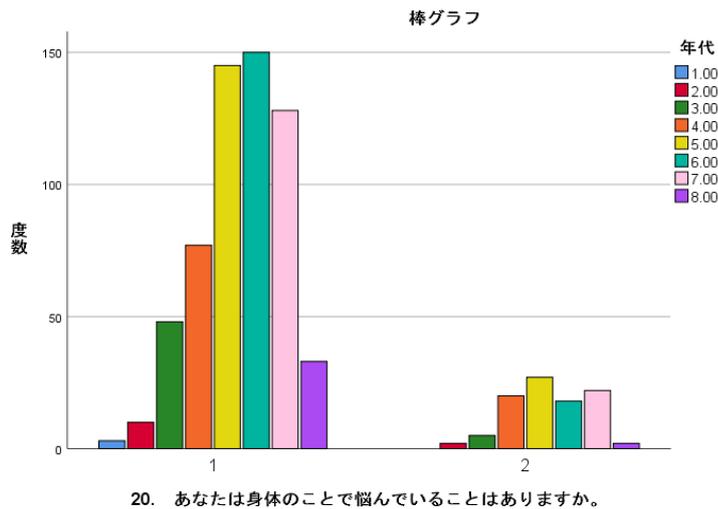
結果からは、性別と体の悩みとの関連は見られませんでした。つまり性別によって、悩みがある・なしが変化するわけではないようです。

## 3. 年齢との関連

20. あなたは身体のことと悩んでいることはありますか。 \* 現在の年齢

クロス表

		年代									
		1.00	2.00	3.00	4.00	5.00	6.00	7.00	8.00	合計	
20. あなたは身体のことと悩んでいることはありますか。	1	度数	3	10	48	77	145	150	128	33	594
		総和の %	0.4%	1.4%	7.0%	11.2%	21.0%	21.7%	18.6%	4.8%	86.1%
		調整済み残差	.7	-.3	1.0	-2.1	-.8	1.4	-.3	1.4	
	2	度数	0	2	5	20	27	18	22	2	96
		総和の %	0.0%	0.3%	0.7%	2.9%	3.9%	2.6%	3.2%	0.3%	13.9%
		調整済み残差	-.7	.3	-1.0	2.1	.8	-1.4	.3	-1.4	
合計		度数	3	12	53	97	172	168	150	35	690
		総和の %	0.4%	1.7%	7.7%	14.1%	24.9%	24.3%	21.7%	5.1%	100.0%



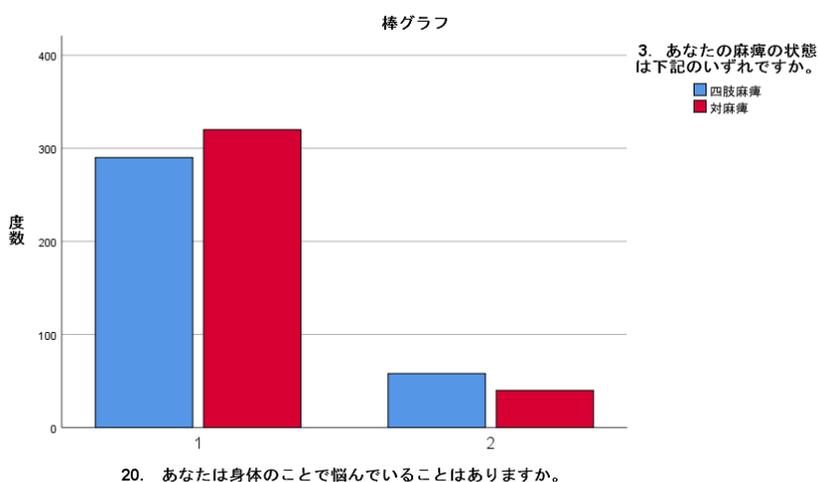
40代の人に身体について悩んでいる人が、ほかのグループと比べて相対的に少なかったです。

#### 4. まひの状態との関連

20. あなたは身体のこと悩んでいることはありますか。 \* 3. あなたの麻痺の状態は下記のいずれですか。

#### クロス表

		3. あなたの麻痺の状態は下記のいずれですか。		合計	
		四肢麻痺	対麻痺		
20. あなたは身体のこと悩んでいることはありますか。	1	度数	290	320	610
		総和の %	41.0%	45.2%	86.2%
		調整済み残差	-2.1	2.1	
	2	度数	58	40	98
		総和の %	8.2%	5.6%	13.8%
		調整済み残差	2.1	-2.1	
合計	度数	348	360	708	
	総和の %	49.2%	50.8%	100.0%	



四肢麻痺より対麻痺のほうが、身体的な悩みがある傾向がわかりました。

## 5. 尿失禁との関連

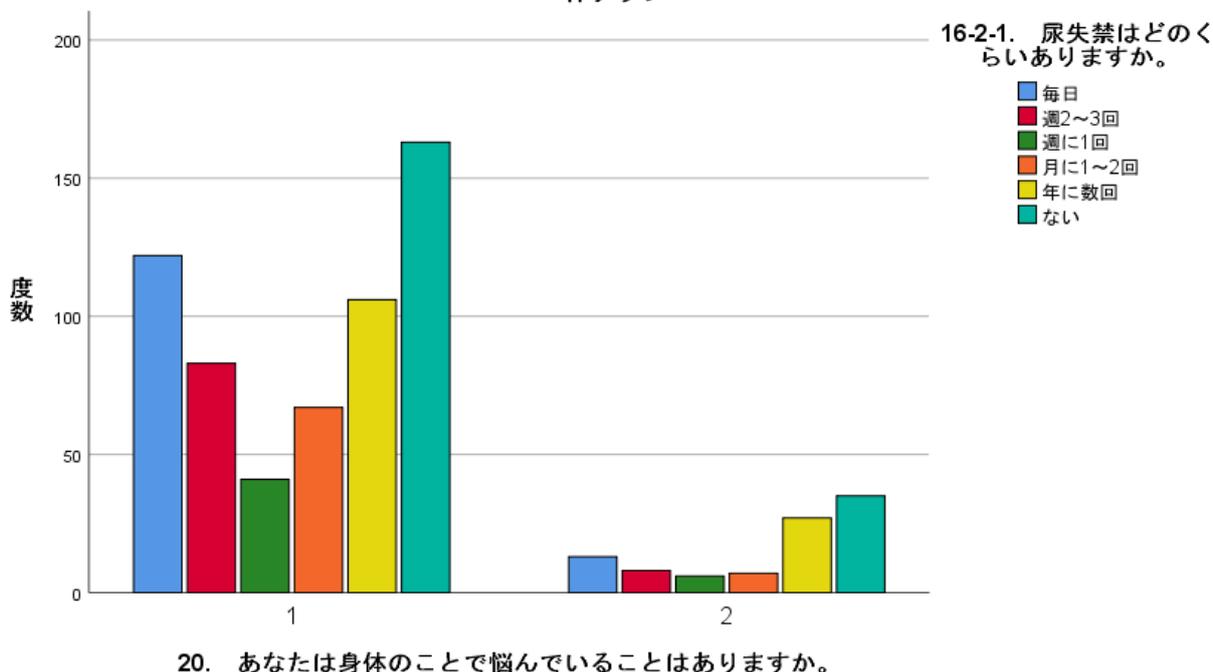
20. あなたは身体のことですべて悩んでいることはありますか。 \* 16-2-1. 尿失禁はどのくらいありますか。

クロス表

16-2-1. 尿失禁はどのくらいありますか。

		毎日	週に2~3回	週に1回	月に1~2回	年に数回	ない	合計
20. あなたは身体のことですべて悩んでいることはありますか。	1 度数	122	83	41	67	106	163	582
	総和の %	18.0%	12.2%	6.0%	9.9%	15.6%	24.0%	85.8%
	調整済み残差	1.7	1.6	.3	1.2	-2.3	-1.7	
	2 度数	13	8	6	7	27	35	96
	総和の %	1.9%	1.2%	0.9%	1.0%	4.0%	5.2%	14.2%
	調整済み残差	-1.7	-1.6	-0.3	-1.2	2.3	1.7	
合計	度数	135	91	47	74	133	198	678
	総和の %	19.9%	13.4%	6.9%	10.9%	19.6%	29.2%	100.0%

棒グラフ



尿失禁と関連（弱）があり、「年数回」グループがほかのグループに比べて悩んでいる人が相対的に少ないようです。

## 6. 排便の頻度との関連

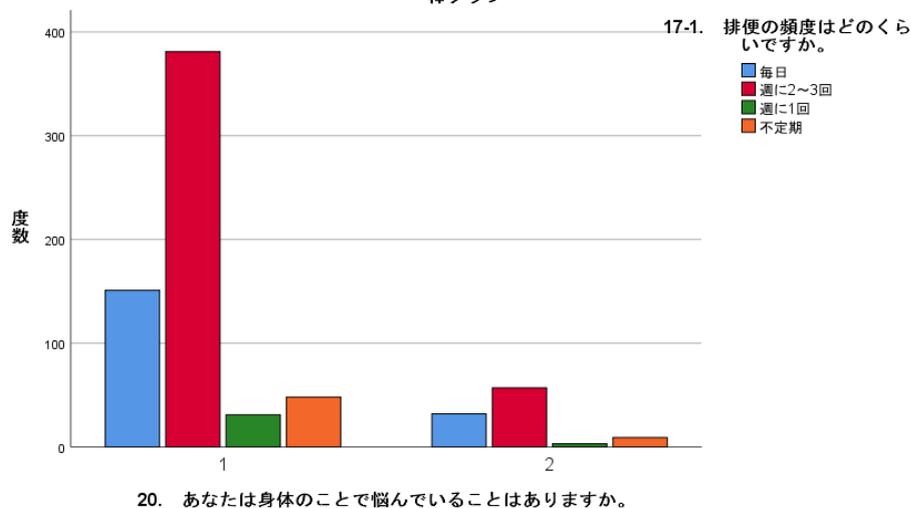
20. あなたは身体のことと悩んでいることはありますか。 \* 17-1. 排便の頻度はどのくらいですか。

クロス表

17-1. 排便の頻度はどのくらいですか。

			毎日	週に2~3回	週に1回	不定期	合計
20. あなたは身体のことと悩んでいることはありますか。	1	度数	151	381	31	48	611
		総和の %	21.2%	53.5%	4.4%	6.7%	85.8%
		調整済み残差	-1.5	1.1	.9	-.4	
	2	度数	32	57	3	9	101
		総和の %	4.5%	8.0%	0.4%	1.3%	14.2%
		調整済み残差	1.5	-1.1	-.9	.4	
合計	度数	183	438	34	57	712	
	総和の %	25.7%	61.5%	4.8%	8.0%	100.0%	

棒グラフ



排便の頻度と体の悩みには関連はありませんでした。

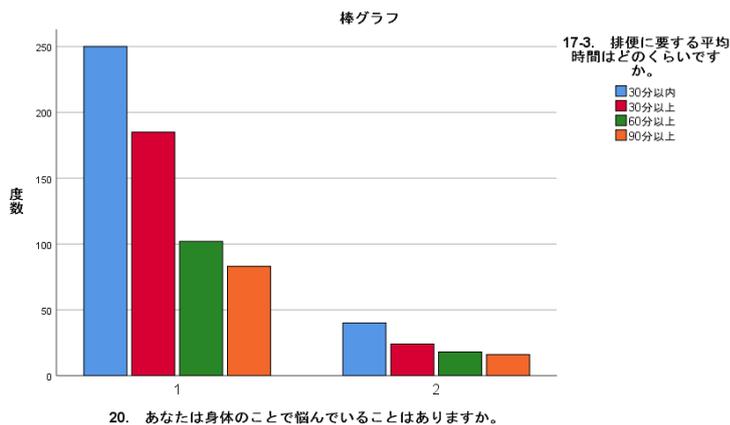
7. 排便の平均時間との関連

20. あなたは身体のことと悩んでいることはありますか。 \* 17-3.排便に要する平均時間はどのくらいですか。

クロス表

17-3. 排便に要する平均時間はどのくらいですか。

		30分以内	30分以上	60分以上	90分以上	合計	
20. あなたは身体のことと悩んでいることはありますか。	1	度数	250	185	102	83	620
		総和の %	34.8%	25.8%	14.2%	11.6%	86.4%
		調整済み残差	-.1	1.1	-.5	-.8	
	2	度数	40	24	18	16	98
		総和の %	5.6%	3.3%	2.5%	2.2%	13.6%
		調整済み残差	.1	-1.1	.5	.8	
合計	度数	290	209	120	99	718	
	総和の %	40.4%	29.1%	16.7%	13.8%	100.0%	



排便の平均時間と体の悩みには関連がありませんでした。

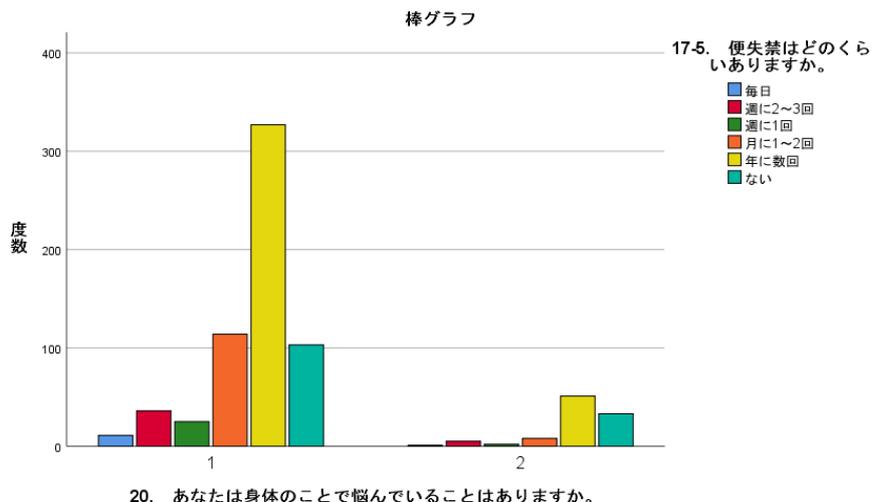
8. 便失禁との関連

20. あなたは身体のことと悩んでいることはありますか。 \* 17-5.便失禁はどのくらいありますか。

クロス表

17-5. 便失禁はどのくらいありますか。

		毎日	週に2~3回	週に1回	月に1~2回	年に数回	ない	合計	
20. あなたは身体のことと悩んでいることはありますか。	1	度数	11	36	25	114	327	103	616
		総和の %	1.5%	5.0%	3.5%	15.9%	45.7%	14.4%	86.0%
		調整済み残差	.6	.3	1.0	2.6	.4	-3.8	
	2	度数	1	5	2	8	51	33	100
		総和の %	0.1%	0.7%	0.3%	1.1%	7.1%	4.6%	14.0%
		調整済み残差	-.6	-.3	-1.0	-2.6	-.4	3.8	
合計	度数	12	41	27	122	378	136	716	
	総和の %	1.7%	5.7%	3.8%	17.0%	52.8%	19.0%	100.0%	



身体の悩みと便失禁の関連が見られ、「月1~2回」グループがほかのグループに比べて悩んでいる人が多いようです。

### 9. 健康診断や人間ドッグの受診との関連

20. あなたは身体のことでは悩んでいることはありますか。 \* 24. 過去1年間で健康診断や人間ドッグを受けたことがありますか。

#### クロス表

24. 過去1年間で健康診断や人間ドッグを受けたことがありますか。

				合計	
		ある	ない		
20. あなたは身体のことでは悩んでいることはありますか。	1	度数	334	283	617
		総和の %	47.0%	39.8%	86.8%
		調整済み残差	1.1	-1.1	
	2	度数	45	49	94
		総和の %	6.3%	6.9%	13.2%
		調整済み残差	-1.1	1.1	
合計	度数	379	332	711	
	総和の %	53.3%	46.7%	100.0%	

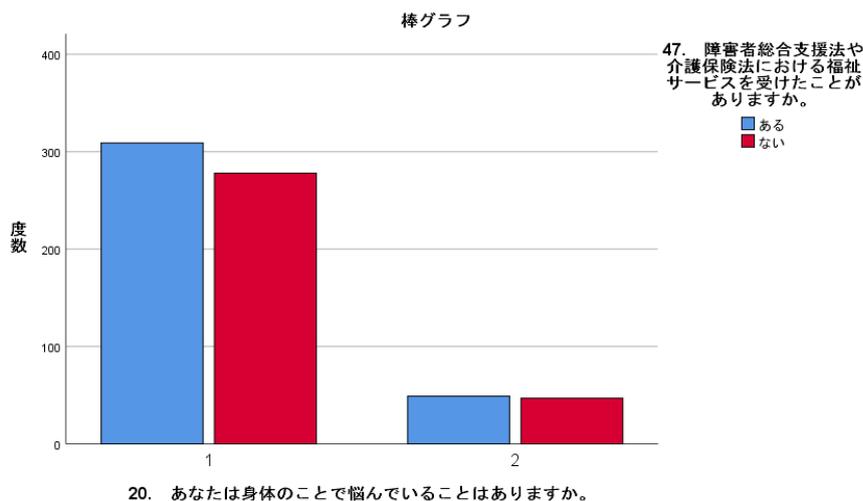
身体の悩みと受診には関連は見られませんでした。つまり身体の悩みがあるからといって、受診にはつながっていないようです。

## 10. 福祉サービスとの関連

20. あなたは身体のことと悩んでいることはありますか。 \* 47. 障害者総合支援法や介護保険法における福祉サービスを受けたことがありますか。

クロス表

		47. 障害者総合支援法や介護保険法における福祉サービスを受けたことがありますか。		合計	
		ある	ない		
20. あなたは身体のこと と悩んでいることはあり ますか。	1	度数	309	278	587
		総和の %	45.2%	40.7%	85.9%
		調整済み残差	.3	-.3	
	2	度数	49	47	96
		総和の %	7.2%	6.9%	14.1%
		調整済み残差	-.3	.3	
合計		度数	358	325	683
		総和の %	52.4%	47.6%	100.0%



身体の悩みと福祉サービスの利用は関連していませんでした。身体の悩みがあっても、サービスを利用をするとは限らない傾向が明らかになりました。

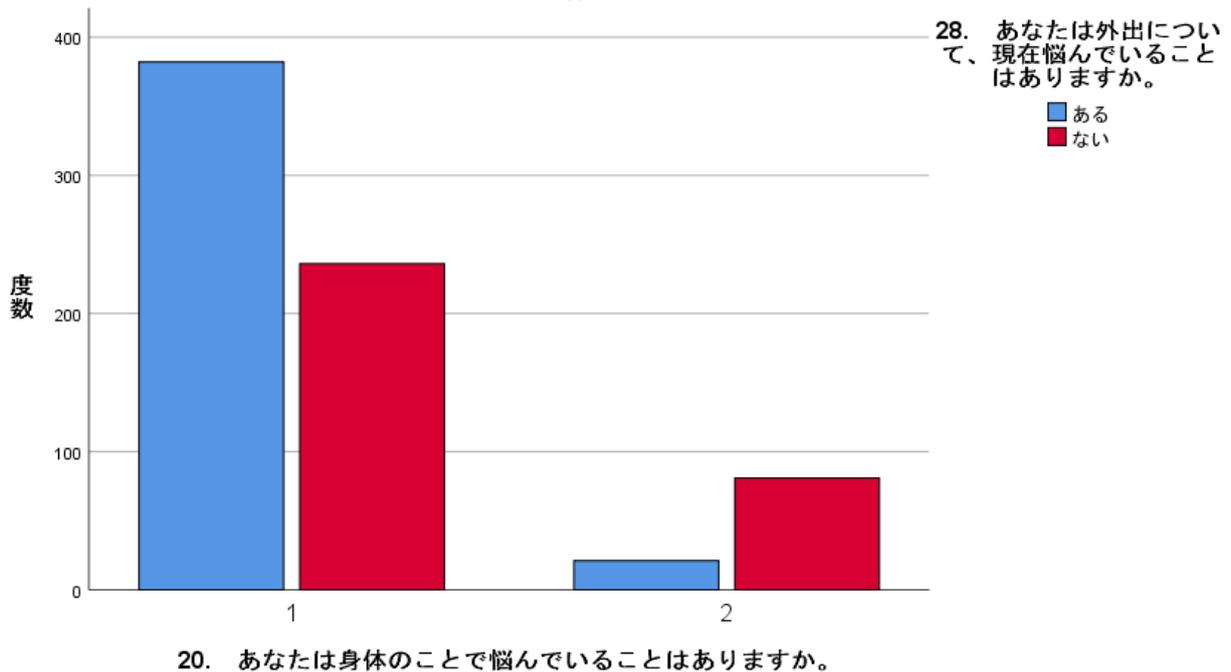
## 11. 外出との関連

20. あなたは身体のことでは悩んでいることはありますか。 \* 28. あなたは外出について、現在悩んでいることはありますか。

クロス表

		28. あなたは外出について、現在悩んでいることはありますか。		合計	
		ある	ない		
20. あなたは身体のこと で悩んでいることはあり ますか。	1	度数	382	236	618
		総和の %	53.1%	32.8%	85.8%
		調整済み残差	7.8	-7.8	
	2	度数	21	81	102
		総和の %	2.9%	11.3%	14.2%
		調整済み残差	-7.8	7.8	
合計		度数	403	317	720
		総和の %	56.0%	44.0%	100.0%

棒グラフ



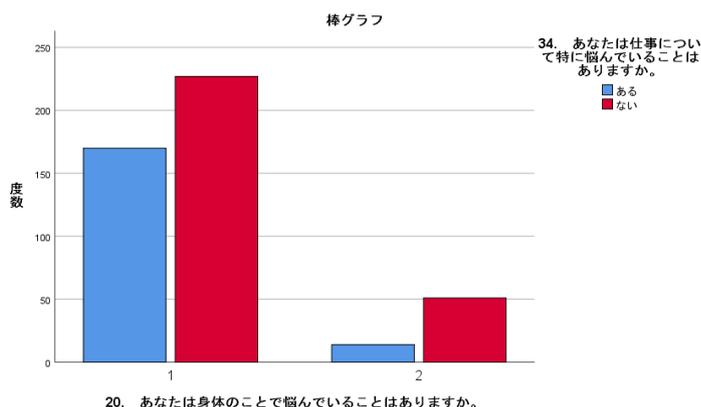
身体の悩みがあると、外出にも悩みがあり、それらの関連の強さは中程度でした。

## 12. 仕事についての悩みとの関連

20. あなたは身体のこと  
で悩んでいることはあり  
ますか。 \* 34. あなたは仕事について特に悩んでいる  
ことはありますか。

### クロス表

		34. あなたは仕事について特に悩んでいることはありますか。		合計	
		ある	ない		
20. あなたは身体のこと で悩んでいることはあり ますか。	1	度数	170	227	397
		総和の %	36.8%	49.1%	85.9%
		調整済み残差	3.2	-3.2	
	2	度数	14	51	65
		総和の %	3.0%	11.0%	14.1%
		調整済み残差	-3.2	3.2	
合計	度数	184	278	462	
	総和の %	39.8%	60.2%	100.0%	



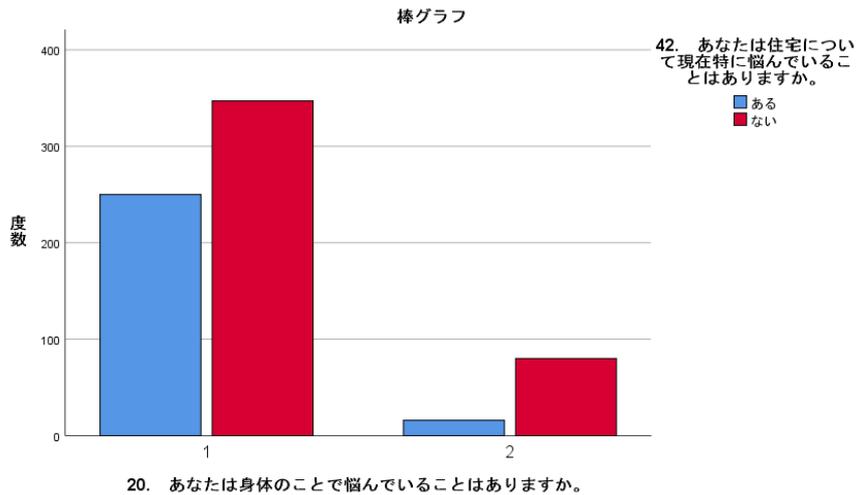
身体  
の悩みと仕事  
の悩みは関連し、身  
体の悩みがあると仕事にも悩んでいる  
ことが示唆されました。

## 13. 住宅の悩みとの関連

20. あなたは身体のこと  
で悩んでいることはあり  
ますか。 \* 42. あなたは住宅について現在特に悩  
んでいることはありますか。

### クロス表

		42. あなたは住宅について現在特に悩んでいることはありますか。		合計	
		はい	いいえ		
20. あなたは身体のこと で悩んでいることはあり ますか。	1	度数	250	347	597
		総和の %	36.1%	50.1%	86.1%
		調整済み残差	4.7	-4.7	
	2	度数	16	80	96
		総和の %	2.3%	11.5%	13.9%
		調整済み残差	-4.7	4.7	
合計	度数	266	427	693	
	総和の %	38.4%	61.6%	100.0%	



身体の悩みがあると、住宅の悩みもある傾向が分かりました。

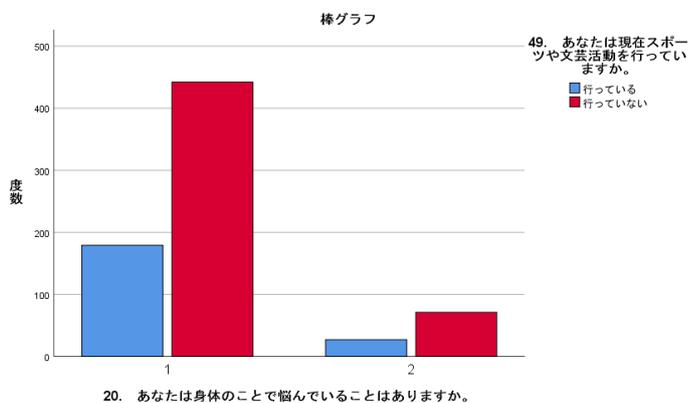
#### 14. スポーツや芸術活動との関連

20. あなたは身体のこと悩んでいることはありますか。 \* 49. あなたは現在スポーツや文芸活動を行っていますか。

クロス表

49. あなたは現在スポーツや文芸活動を行っていますか。

		行っている	行っていない	合計	
20. あなたは身体のこと悩んでいることはありますか。	1	度数	179	442	621
		総和の %	24.9%	61.5%	86.4%
		調整済み残差	.3	-.3	
	2	度数	27	71	98
		総和の %	3.8%	9.9%	13.6%
		調整済み残差	-.3	.3	
合計	度数	206	513	719	
	総和の %	28.7%	71.3%	100.0%	

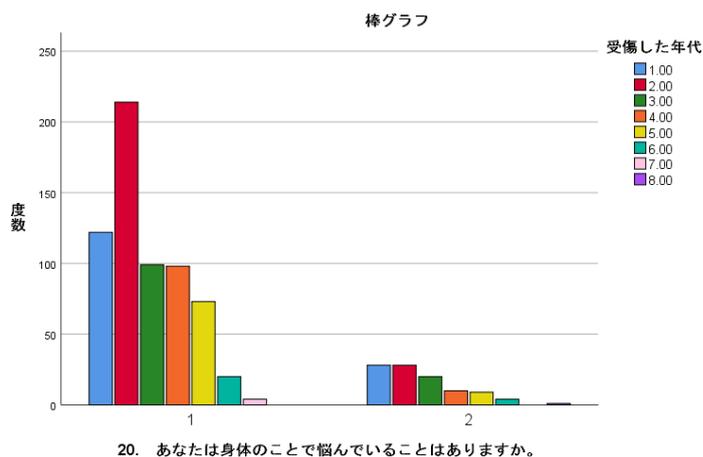


## 15. 受傷した年代との関連

20. あなたは身体のことですべて悩んでいることはありますか。 \* 受傷した年代

クロス表

		受傷した年代								合計	
		10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代		
20. あなたは身体のことですべて悩んでいることはありますか。	1	度数	122	214	99	98	73	20	4	0	630
		総和の %	16.7%	29.3%	13.6%	13.4%	10.0%	2.7%	0.5%	0.0%	86.3%
		調整済み残差	-2.0	1.2	-1.1	1.5	.8	-.4	.8	-2.5	
2	度数	28	28	20	10	9	4	0	1	100	
	総和の %	3.8%	3.8%	2.7%	1.4%	1.2%	0.5%	0.0%	0.1%	13.7%	
	調整済み残差	2.0	-1.2	1.1	-1.5	-.8	.4	-.8	2.5		
合計	度数	150	242	119	108	82	24	4	1	730	
	総和の %	20.5%	33.2%	16.3%	14.8%	11.2%	3.3%	0.5%	0.1%	100.0%	



受傷した年代と体の悩みには、弱い関連があり、10代受傷は、体の悩みが少ない傾向がわかりました。若年での受傷に何か特徴的な要因があるのかもしれませんが。

## 16. 障害を持つてからの期間との関連

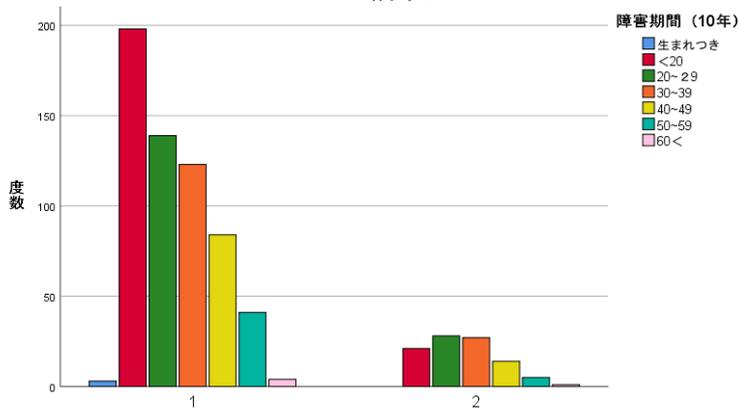
20. あなたは身体のことでは悩んでいることはありますか。 \* 障害を持つてからの期間（10年）

クロス表

障害期間（10年）

		年齢-脊 損年齢=0	<20	20~29	30~39	40~49	50~59	60<	合計	
20. あなたは身体のことでは悩んでいることはありますか。	1	度数	3	198	139	123	84	41	4	592
		総和の %	0.4%	28.8%	20.2%	17.9%	12.2%	6.0%	0.6%	86.0%
		調整済み残差	.7	2.3	-1.2	-1.6	-.1	.6	-.4	
	2	度数	0	21	28	27	14	5	1	96
		総和の %	0.0%	3.1%	4.1%	3.9%	2.0%	0.7%	0.1%	14.0%
		調整済み残差	-.7	-2.3	1.2	1.6	.1	-.6	.4	
合計	度数	3	219	167	150	98	46	5	688	
	総和の %	0.4%	31.8%	24.3%	21.8%	14.2%	6.7%	0.7%	100.0%	

棒グラフ



20. あなたは身体のことでは悩んでいることはありますか。

身体での悩みと受傷期間では弱い関連がありました。

特に障害を持つて20年未満の人たちは、体の悩みを抱えている人が多いという結果でした。もしかしたら20年という期間は、受傷した体への適応時期で、試行錯誤の途中だからかもしれません。

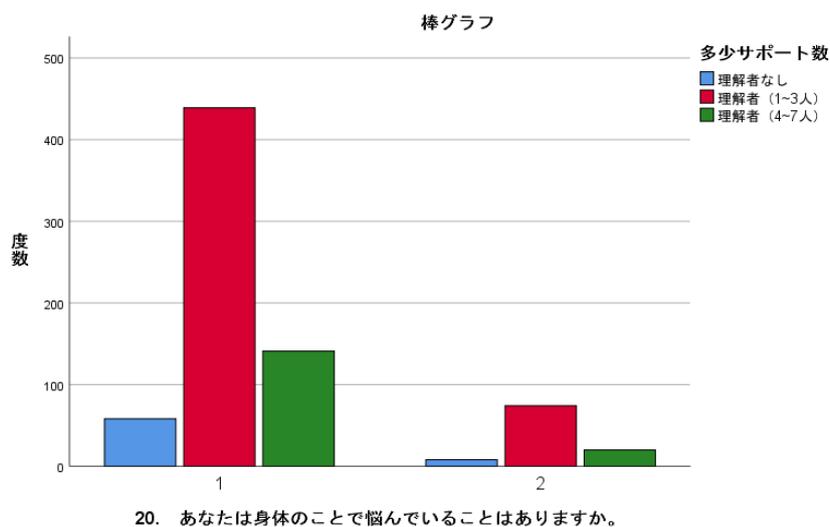
## 17. 理解者の多さとの関連

20. あなたは身体のことでは悩んでいることはありますか。 \* 多少サポート数

クロス表

多少サポート数

		理解者なし	少理解者 (1-3人)	多理解者 (4~7人)	合計	
20. あなたは身体のことでは悩んでいることはありますか。	1	度数	58	439	141	638
		総和の %	7.8%	59.3%	19.1%	86.2%
		調整済み残差	.4	-.8	.6	
	2	度数	8	74	20	102
		総和の %	1.1%	10.0%	2.7%	13.8%
		調整済み残差	-.4	.8	-.6	
合計	度数	66	513	161	740	
	総和の %	8.9%	69.3%	21.8%	100.0%	



1～3人の理解者がいるグループと4～7人の理解者がいるグループと分け、身体の悩みについて比較をしたところ、理解者の数と体の悩みには関連がありませんでした。

## 18. 介助あり・なしと体の悩みとの関連

以下の項目については、介助ありグループと、介助なしグループとに分け、身体の悩みとの関連を調べました。

- 食事介助あり・なし
- 衣服の着脱介助あり・なし
- 洗面介助あり・なし
- 入浴介助あり・なし
- 体位交換介助あり・なし
- 移乗介助あり・なし
- 排尿介助あり・なし
- 排便介助あり・なし

すべての項目で、関連はみられませんでした。

20. あなたは身体のことでは悩んでいることはありますか。 \* 介助食事

クロス表

			介助食事		合計
			介助なし	介助あり	
20. あなたは身体のこと で悩んでいることはあり ますか。	1	度数	509	121	630
		総和の %	69.5%	16.5%	86.1%
		調整済み残差	1.2	-1.2	
	2	度数	77	25	102
		総和の %	10.5%	3.4%	13.9%
		調整済み残差	-1.2	1.2	
合計	度数	586	146	732	
	総和の %	80.1%	19.9%	100.0%	

20. あなたは身体のことでは悩んでいることはありますか。 \* 介助有無衣服

クロス表

			介助有無衣服		合計
			介助なし	介助あり	
20. あなたは身体のこと で悩んでいることはあり ますか。	1	度数	361	265	626
		総和の %	49.7%	36.5%	86.1%
		調整済み残差	.6	-.6	
	2	度数	55	46	101
		総和の %	7.6%	6.3%	13.9%
		調整済み残差	-.6	.6	
合計	度数	416	311	727	
	総和の %	57.2%	42.8%	100.0%	

20. あなたは身体のことでは悩んでいることはありますか。 \* 介助有無洗面

クロス表

			介助有無洗面		合計
			介助なし	介助あり	
20. あなたは身体のこと で悩んでいることはあり ますか。	1	度数	461	170	631
		総和の %	63.2%	23.3%	86.4%
		調整済み残差	.7	-.7	
	2	度数	69	30	99
		総和の %	9.5%	4.1%	13.6%
		調整済み残差	-.7	.7	
合計	度数	530	200	730	
	総和の %	72.6%	27.4%	100.0%	

20. あなたは身体のことでは悩んでいることはありますか。 \* 介助有無入浴

クロス表

			介助有無入浴		合計
			介助なし	介助あり	
20. あなたは身体のこと で悩んでいることはあり ますか。	1	度数	291	338	629
		総和の %	39.9%	46.3%	86.2%
		調整済み残差	-.2	.2	
	2	度数	48	53	101
		総和の %	6.6%	7.3%	13.8%
		調整済み残差	.2	-.2	
合計	度数	339	391	730	
	総和の %	46.4%	53.6%	100.0%	

20. あなたは身体のことでは悩んでいることはありますか。 \* 介助有無体位交換

クロス表

			介助有無体位交換		合計
			介助なし	介助あり	
20. あなたは身体のこと で悩んでいることはあり ますか。	1	度数	409	217	626
		総和の %	56.4%	29.9%	86.3%
		調整済み残差	.1	-.1	
	2	度数	64	35	99
		総和の %	8.8%	4.8%	13.7%
		調整済み残差	-.1	.1	
合計	度数	473	252	725	
	総和の %	65.2%	34.8%	100.0%	

20. あなたは身体のことでは悩んでいることはありますか。 \* 介助有無移乗

クロス表

			介助有無移乗		合計
			介助なし	介助あり	
20. あなたは身体のこと で悩んでいることはあり ますか。	1	度数	395	227	622
		総和の %	54.6%	31.4%	86.0%
		調整済み残差	-.2	.2	
	2	度数	65	36	101
		総和の %	9.0%	5.0%	14.0%
		調整済み残差	.2	-.2	
合計	度数	460	263	723	
	総和の %	63.6%	36.4%	100.0%	

20. あなたは身体のことでは悩んでいることはありますか。 \* 介助有無排尿

クロス表

			介助有無排尿		合計
			介助なし	介助あり	
20. あなたは身体のこと で悩んでいることはあり ますか。	1	度数	425	205	630
		総和の %	58.1%	28.0%	86.2%
		調整済み残差	-.4	.4	
	2	度数	70	31	101
		総和の %	9.6%	4.2%	13.8%
		調整済み残差	.4	-.4	
合計	度数	495	236	731	
	総和の %	67.7%	32.3%	100.0%	

20. あなたは身体のことでは悩んでいることはありますか。 \* 介助有無排便

クロス表

			介助有無排便		合計
			介助なし	介助あり	
20. あなたは身体のこと で悩んでいることはあり ますか。	1	度数	327	296	623
		総和の %	45.2%	40.9%	86.2%
		調整済み残差	-.3	.3	
	2	度数	54	46	100
		総和の %	7.5%	6.4%	13.8%
		調整済み残差	.3	-.3	
合計	度数	381	342	723	
	総和の %	52.7%	47.3%	100.0%	

## 身体について悩み「あり」の人たち

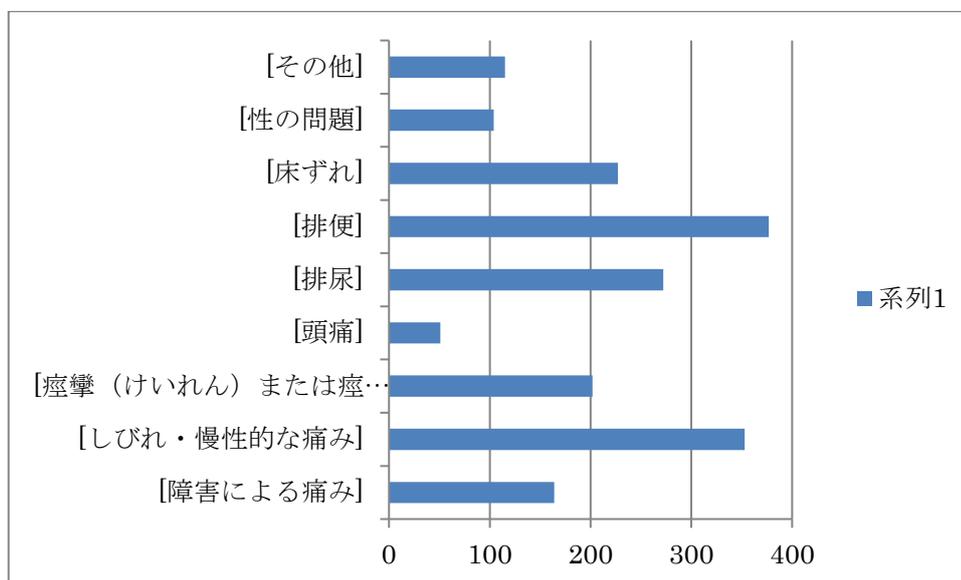
800人中、638人が身体の悩みあり、と回答していました。

以下は、21. 体のことで特に悩んでいることに関して、該当しているものをすべてお選びください（複数回答）で回答された項目です。

半数以上が「しびれ・慢性的な痛み」「排便」に悩んでおり、次に多かったのが「排尿」でした。

### 統計量

21. 体のことで特に悩んでいることに関して、該当しているものをすべてお選びください（複数回答）。		障害による痛み	しびれ・慢性的な痛み	痙攣（けいれん）または痙性（けいせい）	頭痛	排尿	排便	床ずれ	性の問題	その他
度数	有効	164	353	202	51	272	377	227	104	115
N=638	欠損値	474	285	436	587	366	261	411	534	523



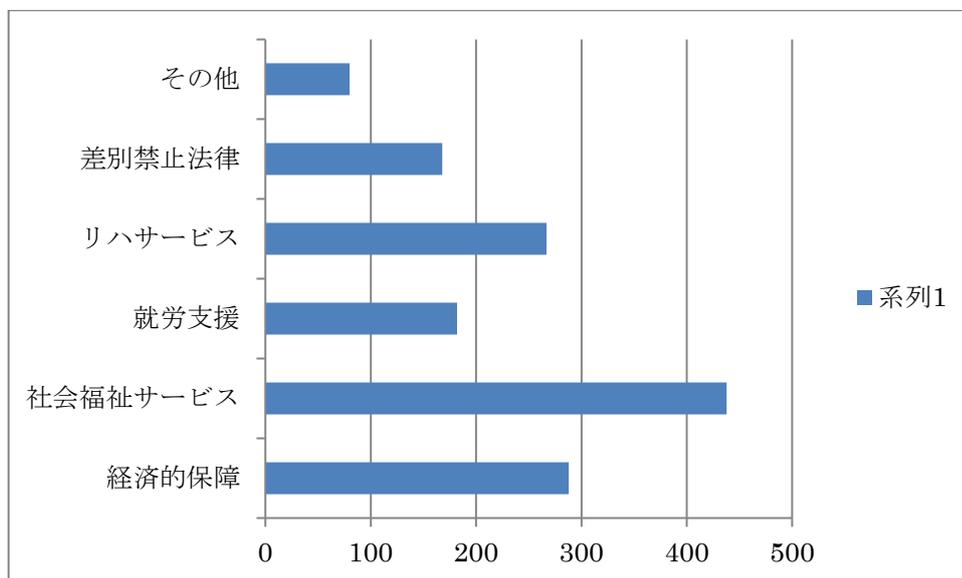
「身体の悩み」ありグループの人たちが「行政に期待すること」（複数回答、N=638）

回答した項目を挙げました。

社会福祉サービス、経済的保障、リハビリテーションサービスが特に要望が多かったです。

統計量

度数	有効	経済的保障	社会福祉サービス	就労支援	リハサービス	差別禁止法律	その他
		288	438	182	267	168	80



第3章のまとめ

- ・ 体の悩みとの関連があった項目は、以下でした（関連の強さ順）  
 外出悩み (.290)、住宅悩み (.179)、便失禁 (.163)、仕事の悩み (.151)、受傷した年代 (.141)、尿失禁 (.133)、現在の年齢 (.114)、障害を持ってからの期間 (.105)、まひの状態 (.08)  
 身体の悩みが仕事、外出、住宅といった社会的要因と関連があり、あるいは悩みの内容が排泄としびれ・痛みであることが分かりました。
- ・ 欠損値の多さ  
 全体を通じて、欠損値（回答漏れ）が目立ち、せっかく回答いただいても個々のデータが反映されていない項目が多くありました。この点に関しては、今後より回答しやすいように項目数や項目の提示の仕方に改善が必要と考えています。

## 全体のまとめ

身体の悩みは、身体的状態より（まひの状態）、現在の年齢、受傷した年代、障害を持ってからの期間のほうが関連が若干ですが強いことが分かりました。また脊髄損傷になってから50年以上の方も数多くいることが分かりました。そこで次回は、「障害とともに長く生きる」について項目を精査して調査を考えています。皆さまの回答が結果に反映されるように検討していきますので、次回もご協力どうぞよろしくお願いいたします。

脊髄損傷者の実態調査票

I. 基礎データ

- 【1】あなたの年齢と性別を答えて下さい。  
1. 男 2. 女 (満 歳)
- 【2】あなたが脊髄損傷「以下脊損」になったのは何歳の時ですか。  
満 歳の時
- 【3】あなたの麻痺の状態は次のうち、いずれですか？  
1. 四肢麻痺 (腕・手にも麻痺がある) 2. 対麻痺 (腕・手には麻痺がない)
- 【4】あなたの脊損の受傷部位は次のどこですか。  
1. 頸髄 番 2. 胸髄 番 3. 腰髄 番 4. 仙髄 番  
5. わからない
- 【5】麻痺の分類について、次のどこですか。  
1. 完全麻痺 2. 不完全麻痺 3. わからない
- 【6】あなたの今の生活場所は次のどれですか。  
1. 在宅 2. 病院 3. 施設 4. その他
- 【6】で「1. 在宅」と答えた方にお聞きします )
- 【7】あなたと一緒に生活している家族は次のどなたですか。 複数回答可  
1. 父 2. 母 3. 子供 ( )人 4. 配偶者 5. 兄弟姉妹 6. 祖父母  
7. 親類 8. なし (一人暮らし) 9. その他
- 【8】あなたのお住まいの地域を市町村までお書きください。  
( )市・区・町・村

II. 脊髄受傷時の状況

- 【9】あなたの脊損の原因は次のどれですか。
- A. 病気 (1. ポリオ 2. カリエス 3. 脊椎腫瘍 4. 脊髄腫瘍 5. ほかの脳神経内科の病気 6. その他 )
- B. スポーツ (1. 水泳 2. 体操 3. 柔道・レスリング 4. ラグビー 5. プール 6. その他 )
- C. 交通事故 (1. 自動車 2. トラック 3. オートバイ 4. 自転車 5. 歩行者 ↓ 6. その他 )  
あなたは次のどの立場でしたか。  
(1. 運転者 2. 同乗 3. 歩行者)
- D. その他 (1. 転倒 2. 転落 (1m未満の高さから落下) 3. 転落 (1m以上の高さから落下) 4. 自殺企図 5. その他 ( )
- E. 仕事→けが、をしたとき従事していた仕事はどれですか。  
(1. 土木・建築 (重機運転含む) 2. 運送業 3. 農業 4. 漁業・海運業 5. 自営業 6. 会社員 7. 公務員 8. その他 )

- 【10】あなたは治療とリハビリをどこで受けられましたか。 複数回答可
- A. 怪我した (治療が必要となった) 直後、最初に入院した医療機関は  
1. 公立総合病院 2. 労災病院 3. リハビリ専門病院  
4. 民間の総合病院 5. その他

宜しければ病院名を教えてください

- B. 最初に入院した医療機関から次に転院した方にお聞きします。転院先は  
1. 公立総合病院 2. 労災病院 3. リハビリ専門病院 4. 回復期リハビリテーション病院 5. 民間の総合病院 6. その他

宜しければ病院名を教えてください

C. 転院を繰り返した方は、Bの番号をカッコ内にご記入ください  
( ) → ( ) → ( ) → ( ) → ( )

【11】 仕事で脊損になられた方にお聞きします。労災に認定されましたか。  
1. はい 2. いいえ

(【11】で2.「いいえ」と答えた方にお聞きします)

【12】 労災に認定されなかった理由はなぜですか。

1. 知らなかった 2. 申請したが却下された 3. その他

【13】 あなたは会社から慰謝料などの損害賠償を得ることができましたか。

1. はい 2. 交渉中 3. 民事裁判中 4. 請求したが拒否された  
5. 請求しなかった 6. その他

### III. 身体状況、健康状況について

【14】 今あなたは次の日常動作をどの程度できますか。

※統一設問①～⑧の説明 (1=一人でできる 2=補助具を使えば一人でできる

3=一部介助を必要とする 4=全て介助を必要とする)

- ① 食 事 ( 1 2 3 4 )      ② 衣服の着替え ( 1 2 3 4 )  
③ 洗 面 ( 1 2 3 4 )      ④ 入 浴 ( 1 2 3 4 )  
⑤ 体位交換 ( 1 2 3 4 )      ⑥ ベッドや車椅子への移乗 ( 1 2 3 4 )  
⑦ 排 尿 ( 1 2 3 4 )      ⑧ 排 便 ( 1 2 3 4 )

(【14】で3と4に一つでも○をつけた方にお聞きします)

【15】 日常生活の中で介護者はどなたですか。複数回答可

1. 父 2. 母 3. 配偶者 4. 子供 5. 兄弟姉妹 6. 親類 7. 病院介護  
8. 施設介護 9. ホームヘルパー 10. 訪問看護 11. その他

【16】 排尿について、おたずねします。

1. 排尿はどのような方法でしていますか。該当する番号すべてに○をつけてください。

1. 自然排尿 2. 膀胱ろう 3. 尿道カテーテルを常時留置 4. 腹圧や手圧をかけた  
排尿 5. 自己間欠導尿(1日 回) 6. 介助で間欠導尿(1日 回) 7. 収  
尿器を使用 8. 紙おむつで対応 9. 昼間は間欠式バルーンカテーテル(デイバル  
ーン) 9. 夜間は間欠式バルーンカテーテル(ナイトバルーン)

2. 尿失禁はどのぐらいありますか。該当する番号に○をつけてください。

1. 毎日 2. 週に2～3回 3. 週に1回 4. 月に1～2回 5. 年に数回  
6. ない  
→ よろしければその対処方法を教えてください。

【17】 排便について、おたずねします。

1. 排便の頻度はどのぐらいですか。最も該当する番号に1つ○をつけてください。

1. 毎日 2. 週に2～3回 3. 週に1回 4. 不定期

2. 排便はどのような方法でしていますか。最も該当する番号すべてに○をつけてください。

1. 自然排便 2. 人工肛門 3. 盲腸ポート 4. 自分だけで排便 5. 介助で排  
便 6. 紙おむつで対応 7. 洗腸 8. ベット上で排便 9. トイレで排便 1  
0. ポータブル(携帯)トイレで排便

3. 排便に要する平均時間はどのぐらいですか。

1. 30分以内 2. 30分以上 3. 60分以上 4. 90分以上

4. 排便を促す方法について、該当する番号すべてに○をつけてください。

1. 下剤 2. 浣腸 3. 座薬 4. 摘便 5. 腹部マッサージ 6. 肛門・直腸を  
指などで刺激 7. 洗腸 8. 洗浄便座 9. ストマ 10. 何もしない



( 【28】で「1. ある」と答えた方にお聞きします )

【29】外出について悩んでいることは次のどれですか。 複数回答可

1. 人の助けがなければ外出できない
2. 排尿・排便が不安
3. 人目が気になる
4. 外出の費用が経済的に苦しい
5. 移送サービスが利用しにくい
6. その他

## V. 就労状況について

【30】あなたは脊損になってから仕事をしたことはありますか。

1. 現在、雇用されている
2. 就労継続支援A型事業所で雇用されている
3. 自営業している
4. 求職中だが見つからない
5. 仕事の希望なし
6. その他

( 【30】で「1. 現在している」と答えた方にお聞きします )

【31】今の仕事を見つけたきっかけは次のどれですか。

1. 就労支援事業所→(ア.就労移行支援 イ.就労継続支援A型 ウ.就労継続支援B型)
2. ハローワーク
3. その他の障がい者就労支援機関
4. 就職情報誌・インターネット
5. 職業訓練校
6. 学校
7. 家族・親戚
8. 友人
9. 勤めていた会社に復帰
10. 医療機関
11. 脊損の仲間
12. その他

( 【30】で「1. 現在している」と答えた方にお聞きします )

【32】現在の勤務日数と時間はどのくらいですか。

(週に 日)と(1日 時間)

( 【30】で「1. 現在している」と答えた方にお聞きします )

【33】現在の仕事の1ヵ月の収入は次のどれですか。

1. 5万円以下
2. 6万円～9万円
3. 10万円～14万円
4. 15万円～19万円
5. 20万円～24万円
6. 25万円以上

( 【30】で「1. 現在している」と答えた方にお聞きします )

【34】あなたは仕事について特に悩んでいることはありますか。

1. ある
2. なし

( 【34】で「1. 現在している」と答えた方にお聞きします )

【35】仕事について悩んでいることは次のどれですか。 複数回答可

1. 希望する職種が見つからない
2. 賃金が低い
3. 労働時間が長い
4. 通勤が困難
5. 仕事がつらい
6. 仕事内容がつまらない
7. 職場での人間関係
8. トイレやスロープ等の職場環境が不十分
9. 仕事の能力が劣る
10. 排尿・排便がうまくコントロールできない
11. 床ずれがある
12. その他

( 【30】で「2. 求職中だが見つからない」「3. 仕事の希望なし」と答えた方にお聞きします )

【36】その理由は次のどれですか。 複数回答可

1. 希望する職種が見つからない
2. 賃金が低い
3. 労働時間が長い
4. 通勤が困難
5. 仕事がつらい
6. 仕事内容がつまらない
7. 職場での人間関係
8. トイレやスロープ等の職場環境が不十分
9. 仕事の能力が劣る
10. 排尿・排便がうまくコントロールできない
11. 床ずれがある
12. その他

## VI. あなたの住居について

【37】あなたの住居は次のどれですか。

1. 持家
2. 民間の賃貸住宅(アパート等)
3. 公営住宅(団地等)
4. 間借
5. 施設・病院
6. その他

【38】あなたが脊損になってから自宅は生活しやすいように改修しましたか。

1. はい 2. いいえ

( 【38】で「1. はい」と答えた方にお聞きします )

【39】その改修の規模は次のどれですか。

1. 新築 2. 全面改修 3. 一部改修 4. その他

( 【38】で「1. はい」と答えた方にお聞きします )

【40】改修するにあたって支援制度を利用しましたか。

1. はい 2. いいえ 3. その他

( 【38】で「2. いいえ」と答えた方にお聞きします )

【41】その理由は次のどれですか。

1. 借家で改修できない 2. 経済的に改修できない 3. 改修の必要なし 4. その他

【42】あなたは住宅について現在特に悩んでいることはありますか。

1. ある 2. なし

( 【42】で「1. ある」と答えた方にお聞きします )

【43】住宅について悩んでいることは次のどれですか。 複数回答可

1. せまい 2. 段差が多い 3. トイレが不便 4. 風呂場が不便 5. 借家で改修できない 6. 経済的に改修できない 7. その他

## VII. あなたの生活保障についてお聞きします

【44】現在のあなたの生活費は次のどの収入でまかなっていますか。 複数回答可

1. 自分の仕事の収入 2. 家族の収入 3. 労災補償 4. 自動車賠償保険 5. 国民年金 6. 障害基礎年金 7. 障害厚生年金 8. 福祉手当 9. 特別障害者手当 10. 特別障害給付金生活保護 11. NASVA 介護料 12. 生活保護 13. 不動産等財産 14. その他

【45】あなたの年金、手当の種類はどれですか。 複数回答可

1. 障害基礎年金 2. 障害厚生年金 3. 労災年金 4. 福祉手当 5. 特別障害者手当 6. 特別障害給付金 7. NASVA 介護料 8. 年金なし 9. その他

【46】現在のあなた自身の収入は賃金や年金も含め、全部で1ヵ月平均どれぐらいですか。

1. なし 2. 5万円以下 3. 6～10万円 4. 11～15万円 5. 16～20万円 6. 21～25万円 7. 26～30万円 8. 31万円以上 9. わからない

## VIII. 社会サービス利用等について

【47】現在、障害者総合支援法における福祉サービス並びに、介護保険法における福祉サービスについてお聞きします。障害者総合支援法や介護保険法における福祉サービスを受けたことがありますか。

1. ある 2. なし

( 【47】で「1. ある」と答えた方にお聞きします )

【48】あなたの障害支援区分並びに要介護度区分はどれぐらいですか。

- A 障害者総合支援法における障害支援区分 ( 区分 )  
B 介護保険法における介護度 ( 要支援 介護度 )

## IX. 楽しみや生きがいについてお聞きします

【49】あなたは現在スポーツや文芸活動を行っていますか。

1. している 2. していない

( 【49】で「1. している」と答えた方にお聞きします )

【50】行っている活動について、該当するものに○をつけてください。 複数回答可

A. スポーツ

1. 車いすマラソン 2. 車いすバスケット(ツインバスケットも含む)  
3. アーチェリー 4. 車いすラグビー 5. ライフル  
6. 水泳(スキューバダイビングも含む)  
7. その他

B. 文芸活動

1. 絵画 2. 小説など執筆活動 3. その他

【51】現在あなたは生活上の楽しみや生きがいを持っていますか。

1. ある 2. なし

( 【51】で「1. ある」と答えた方にお聞きします )

【52】生活上の楽しみや生きがいは次のどれですか。 複数回答可

1. 家族 2. 友人 3. 恋人 4. スポーツ及び文化活動 5. 仕事  
6. リハビリ 7. 障害者運動 8. 旅行 9. パソコン等IT機器活用関連  
10. ペット 11. 釣り 12. その他

( 【52】で「9. パソコン等IT機器活用関連」と答えた方にお聞きします )

【53】1日のだいたいの利用時間をお答え下さい。

- 1日約( )時間

( 【52】で「9. パソコン等IT機器活用関連」と答えた方にお聞きします )

【54】どのような目的でパソコン等のIT機器を使用していますか。 複数回答可

1. 仕事 2. インターネット利用(メール含む) 3. 音楽や動画を楽しむ 4. Blog  
5. その他

( 【52】で「9. パソコン等IT機器活用関連」と答えた方にお聞きします )

【55】パソコンを操作するときに、どのような方法で操作していますか。

1. 特に特別なことはしていない 2. 指先でも操作できるジョイスティック等を使用  
3. 呼気スイッチ等を使っている 4. 音声変換ソフトを利用して操作している  
5. ペンや補助具などを使ってキーボードを操作している  
6. マウススティックや視線入力  
7. その他

【56】現在、テレワーク(在宅・移動先で働く)での働き方が広がっていますが、関心がありますか。

1. 関心がある → (1. 現在、テレワークで仕事している 2. 学んだうえで将来的には)  
2. 関心がない → (1. 通勤が良い 2. 障害が重くてできると思わない 3. その他)

【57】昨今、障害者福祉施策も大きく変わろうとしています。そこで今日の行政に期待することは何ですか。 複数回答可

1. 経済的保障 2. 社会福祉サービスの充実 3. 就労支援 4. リハビリテーションサービス  
5. 差別禁止に関する条例や法律 6. その他

◎その他、この調査についてのご意見等がありましたらお書きください。

以上です。ご協力ありがとうございました。

脊髄損傷者の生活状況に関する  
全国実態調査報告書

---

2022年8月31日 第1版第1刷発行  
発行者 特定非営利活動法人 日本せきずい基金  
〒152-0023 東京都目黒区八雲 3-10-3  
自由が丘第2マンション 104号室  
電話 03-6421-1683 FAX 03-6421-1693  
E-mail [jscf@jscf.org](mailto:jscf@jscf.org) URL [www.jscf.org](http://www.jscf.org)

---

©Japan Spinal Cord Foundation, 2022 非売品



「脊髄損傷者の生活状況に関する全国実態調査報告書」は、  
一般社団法人日本損害保険協会の自賠責運用益拠出事業によるものです。